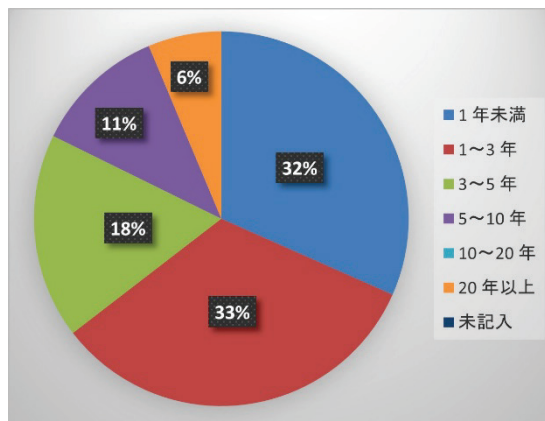


4. アンケート集計結果

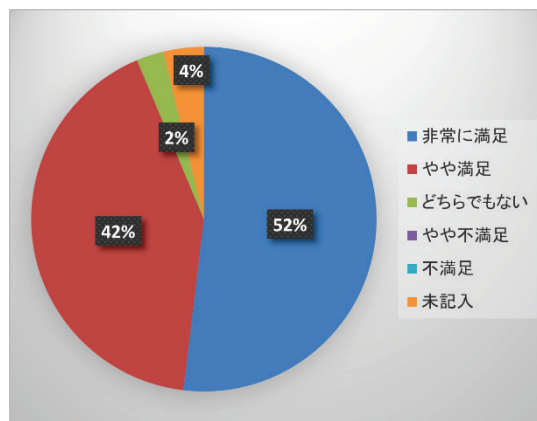
1. 交通安全業務の経験期間をお教えてください。

	人数	割合
1年未満	25	32%
1～3年	26	33%
3～5年	14	18%
5～10年	9	11%
10～20年	0	0%
20年以上	5	6%
未記入	0	0%
合計	79	100%



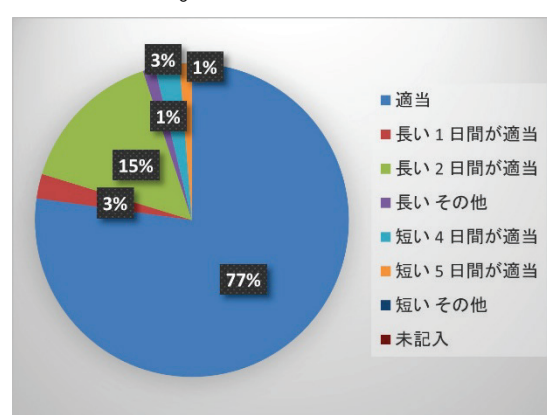
2. 3日間の講座内容はどうでしたか。

	人数	割合
非常に満足	41	52%
やや満足	33	42%
どちらでもない	2	3%
やや不満足	0	0%
不満足	0	0%
未記入	3	4%
合計	79	100%



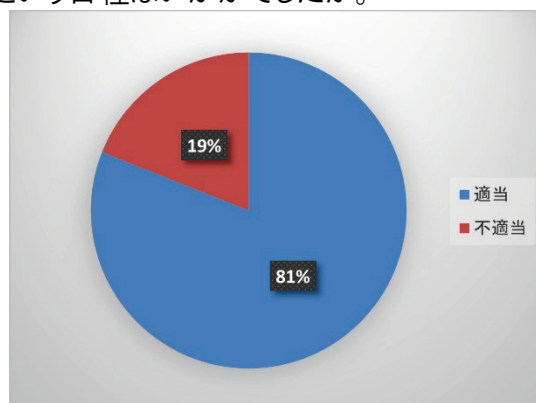
3. 本講座の開催期間：3日間という日程はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	61	77%
長い1日間が適当	2	3%
長い2日間が適当	12	15%
長いその他	1	1%
短い4日間が適当	2	3%
短い5日間が適当	1	1%
短いその他	0	0%
未記入	0	0%
合計	79	100%



4. 本講座の開催時期：12月4日～6日という日程はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	64	81%
不適当	15	19%
未記入	0	0%
合計	79	100%



< 適当と思われる理由 >

・本来であれば、4月からの交通指導繁忙期前の1月～3月が適当と思われるが、第4四半期は、業務等忙しくなるので12月初旬でよろしいかと思う。
・年間の行事開催時期からみて比較的少ない時期で、数日間の研修として参加しやすいと思います。
・田畑の仕事がない時期であり、雪が降る前にやる作業が終わった時期でもあるから。
・比較的仕事の落ち着いている時期だから。
・年間の職務が落ちつく時期の為。
・他の時期と比べると、交通安全教室が比較的少ない時期なので参加しやすかった。
・年末の繁忙期前なので適当と考える。
・年末は避けて、丁度良い。
・指導が少ない時期で、指導内容を考えていたため。
・事故が多くなる季節に行うことで、今後自分たちが教室を行う時に学んだ知識を生かすことができると思った。
・12月頭は交通安全教室や交通講話のスケジュールが毎年入っていない為、最適です。
・年末の交通安全県民運動前に交通安全の知識が増えてとても良い時期だと思った。
・おしつまった年の瀬よりは適当ではないかと。
・交通指導員として、幼児、児童、高齢者の教室が、一通り終わる時期なので課題、問題を提起しやすい時期だと思うから。
・交通安全教室などのイベントと重ならない時期なので、受講しやすい。
・特段の不都合は無かったが、夏休みの時期の方が余裕は有る。
・教室が少ない時期だった。
・オンライン参加だったので。
・地方での仕事に余裕ある時期で参加し易い。

・教室も落ち着いている時期なので、受講しやすい時期でした。ありがとうございました。
・交通安全教室の開催が多くない時期なので助かりました。
・交通安全教室があまり混み合っていない時期であるから。
・各都道府県によっては分かりませんが、季節的にも教室の申し込みが少なく年末の県民運動前の週である為、個人的には適当だと思いました。
・本市においては、交通指導員の閑散期であることから。
・交通安全教室が落ち着く時期なので、この時期でよかったです。
・4～6月は交通教室が多く忙しい。9、10月ごろも同じく。また安全運動期間中も出席が難しくなってしまうため、この時期の安全運動期間外だとありがたいです。
・交通教室で忙しい時期と時期の間でしたので良かったです。
・この時期であれば交通教室なども少ないので、参加しやすい。
・約1年(4月～)業務に従事した経験が各自にあり交通安全機関とも重複していないから。
・交通安全教室で現場に出ることが少ない時期なので適当だと思います。これより遅くなるとまた事務など多忙になるので。
・12月始であれば時間が取れ易い。
・交通安全教室が入らない時期であり、参加しやすい。
・年末まで少し間があるので、丁度良いと感じました。
・指導員となって1年に満たない立場なので、講師の方、指導員の諸先輩方の様々なお話を拝聴できたのはこの上なくよい機会であり、少ない経験値ではありますが所属している自治体の特性や自分なりの考えをお伝えできたことが、個人的にはおそらく私と同様な立場にある方にとってとても良い開催時期だったのではないかと思います。
・早目に日程が分かっていたら調整がきくため。
・3日間は、皆の意見を述べ充実ある設定期間と思う。年齢的にこれ以上の日程は疲れます。この時期は暑くもなくベスト日程と思います。
・年月末は多忙ですが月初は比較的時間が作れます。
・12月は、教室を希望している件数が少ないため
・業務について半年すぎた頃で学ぶことができた。交通教室のオフシーズンの為。
・長くもなく短くもなく良かったです。
・今年の冬は暖冬ということもあり、雪が降ることもなく公共交通機関がスムーズに動いたので混乱なく過ごせたので良かったです。
・業務的に忙しい時期ではないのと気候、気温等も丁度いいと思うから。
・自分としては期日は関係なし
・季節的に、梅雨(大雨)や台風等の影響を受けることがなく、(個人的にも)他の行事予定と調整が容易でした。
・11月は、講話行事が多かったですが、12月は比較的少ない時期でした。できたら11月以前の春・夏頃なら、11月の多忙期に生かされるのではと思いました。

・ちょうど、私達の交通安全教室が落ち着く時期なので、いい時期だと思います。1月～3月だと雪の影響で飛行機が遅れることがあるので、札幌からの参加は厳しいと思います。
・年末の忙しい時期の前だから、可。
・1学期、2学期前半は、新入学児童(小学校)の安全教室でめいっぱいであり、この時期になると落ち着くので開催時期は適当と思う。
・1年間で交通教室が一番落ちついている時期だから参加しやすいから適当だと感じた。様々な対象に対応するための講義を受けることができるから。
・12月後半から年末の交通安全運動が始まり、かなり忙しくなるため、始まる前でよかった。
・業務のスケジュール等問題なく参加できたため。

<不適当と思われる理由>

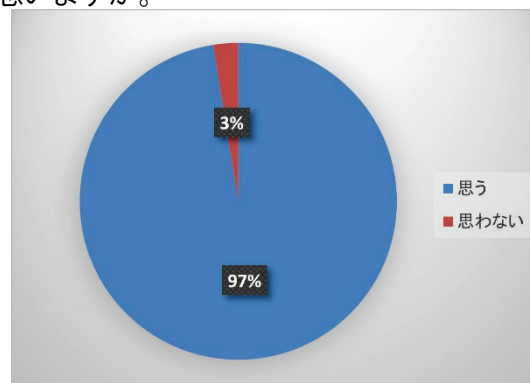
・もう少しあたたかい時期に行っていたらと荷物が多くてありがたいです(勝手な考えですね)。また年末の交通安全運動の準備時期にもなるため、11月中に開催されたらよりありがたいです。
・12月は年末で色々忙しい為。
・寒冷地では12月は寒いので10月頃の開催される事を望みます。
・年末の交通安全運動期間中(愛知県:12/1～12/10)であるため、可能なら別日が望ましい。
・12月は年末でいそがしい時期でもあるので、年明けや夏とかはどうか？
・年末なので仕事をかけもちしている人は忙しく参加が難しいと思う。インフルエンザ・コロナなど流行しているので、もう少し気候が穏やかな頃が良いと思います。
・京都は年末の交通事故防止府民運動(12/1～10)中なのでずらしてほしかった。各都道府県でも年末行動があるのでは…？
・年末の交通事故防止府民運動の期間中であったため。
・本市では年末の交通安全運動期間中であったため。
・気候が寒いので移動するのに荷物が多くなる。
・交通安全教室が入っていたので、少ない時期にして頂けると助かります。
・12月は、寒く体調管理が難しく、追走で何かと忙しい。
・年末の時期であり、日常業務の作業が滞ってしまうため。
・12月は全国的に冬の交通安全運動期間に重なる可能性がある。
・小学校、幼稚園の休暇を利用し開催していただけたらいいと思う。

<適当と思われる時期(月)>

・1～3月	・2月	・6月
・7～8月	・8月	・10月(3件)
・10～11月(3件)	・11月初旬	・11月(2件)

5. 本講座で受講した内容を今後活用したいと思いますか。

	人数	割合
思う	77	97%
思わない	2	3%
未記入	0	0%
合計	79	100%



< 思うと答えた方、今後どのように活用していきたいとお考えでしょうか。 >

・保育園や小学校の交通安全指導で活用したいと思います。
・自分たちなりの安全教育をしてある意味マンネリ化している部分もまぬがれないと感じていたので新たな手法や道具を知ることができたので、担当者に伝えたい。
・交通安全教室に取り入れていきたい。
・高校生の自転車教室について新規事業の話が出ているので、受講した内容や討議結果などを参考にしたいです。
・交通安全指導における効果的な話し方は、職務だけでなく日常的に実施できると思ったから。
・幼児・児童・高齢者それぞれの講座で新たな知識や教材の例を知ることが出来たので、今後の交通安全教室でも話題や教材のひとつとして取り入れて活用していきたい。
・児童の交通安全教室で活用したい。
・毎日です。
・現場で、活用したい。
・今回学んだことを今後の指導で活用していきたいと思います。
・交通安全教室で生かしたい。
・現在の教室にプラスして活用したいと思います。
・全ての講義のお話が大変参考になりましたし勉強になりました。今後の幼児・児童の交通安全教室や高齢者向けの交通講話にも活用していきたい。また、最後の講義の「自転車の安全利用について」でお話の合った高校生向けのイヤホン着用の実験はシンプルだし分かりやすく、とても興味を持ちました。職場で提案したいです。他にも活用したいお話はたくさんありすぎて書ききれないくらいです。
・内閣府の資料についてはすぐに活用できると思われますので、内部で共有を図り今までの講話の資料等に反映させたいと思います。

<p>・全国の交通安全教育に従事している方の課題や教室の方法を聞いて、日々の立哨活動や協議会の会議で共有していきたい。</p>
<p>・こどもの接し方については各分野での対処例なども考慮して考えを再度確認したい。</p>
<p>・今までは、こちらからの一方的な講話が多かったが、教室に参加してくれる方達(児童、高齢者を中心)が主体となって進めることのできる教室になる様活用したいと思う。</p>
<p>・交通指導員と情報を共有し、今後の交通安全教室や日々の立哨業務に活かしていきたいです。</p>
<p>・職歴1年と経験値が低いので、全ての場面で活用して行きたい。</p>
<p>・交通安全教室等で各年齢の特性を考えて進めていくことで、実際の危険性を理解してもらおう。</p>
<p>・なるほどメガネ、横断歩行者トレーナー、にぎるくん等体感型アイテムを使うことで、より講話に信憑性が増す。理解してもらうためには体験、実感、理解、行動につながっていくと思った。話し方も創意工夫して聴衆を引きつける努力をしていきたいと感じた。</p>
<p>・今後、地域の中で啓発していきたい。</p>
<p>・子供等の会話の中で実施したいと思います。</p>
<p>・子供の交通安全教室を行う上で、行動特性をより理解しての内容にしていきたい。</p>
<p>・交通安全教室では幼児、小学生、保護者、高齢者それぞれ対象者に寄り添った指導やより身につくような声掛け、導入など意識を高めるような雰囲気づくり等、参考にしていきたいと思います。</p>
<p>・受講者を巻き込み、共に考えること、他で行っている事を活用したい。</p>
<p>・講座ごとに、興味の湧く内容や知りたいポイントなどを丁寧に教えていただいたので、それぞれの分野で使い分けながら今よりもわかりやすい指導や教室になるように活用していきたいです。</p>
<p>・講師の方に教えていただいた事や他県の方の実例を参考に、本市でも実施可能かどうかを検討し実践に移していきたいと思います。特に現代の子供の特性に合わせた指導の仕方、保護者や地域の大人に向けての啓発活動の必要性の高さ等、参考になりました。</p>
<p>・交通安全教室の場で話し方や講話の組み立てなどに取り入れていきたい。</p>
<p>・意義ある講義が多くこれを今後の交通安全教室に活かしたい。</p>
<p>・やはり、白バイ隊員の方のマジックは幼児・児童の関心を引きつける為にとっても有効であると思いました。未満児での教室もある為、楽しんで交通ルールや知識を学んでもらいたいです。</p>
<p>・各講義ともに、すぐに実践で使える知識を教えてくださいました。例えば池田先生の講義の中の、「高齢者は聞くことよりも話すことが好き」という特性を理解して、今後の高齢者向け講話の内容構築の参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>・山口先生のお話を聞いて、幼児への言葉のかけ方や、また小学生の自転車教室の内容の見直しをしようと思いました。</p>
<p>・交通教室などの内容に学んだ内容を盛り込んでいきたい。</p>

<p>・子どもへの声かけの仕方について改めて学んだ事があったので、日々の交通教室や見守り活動の際に活かしたいと思います。</p>
<p>・講話をする際、いつも同じような内容ややり方になってしまっている為、今回教えていただいた話の導入を取り入れたり、講話の中で映像を使用したい。</p>
<p>・自転車教室で、小学2年生と小学4年生に実施している(初歩的な内容)もっと山口先生の講義内であったように発達に応じた内容にする必要があると感じた。</p>
<p>・警察の方がしてくれた導入は真似したい。</p>
<p>・交通安全教室で積極的に活用したいと思います。</p>
<p>・他所の方法や講師から得たロジックを、今後の教室での講話や内容に活かしていきたい。また、新しい交通安全行政の施策にも反映していきたい。</p>
<p>・日頃の安全教育のときにとりいれていきたい。</p>
<p>・いきいき運転講座の内容はすでに実施しているため。</p>
<p>・啓発活動での参考にしたい。</p>
<p>・今後の交通安全教室の中で活かせる内容を取り入れていきたい。</p>
<p>・講習等、ただ発信するだけでなく、相手の特性をふまえたうえで受講者同士の交流も交え効果的な啓発を行いたいです。</p>
<p>・全国から集まれた方との雑談もとても役に立つ情報がたくさんあり講座の内容と合わせて、すぐに実践していきたいと思います。</p>
<p>・話し方、話の進め方、高齢者の認知機能の低下、運動機能低下に参考になる講座が具体的事例もあり活用しやすい。</p>
<p>・様々な地域の方と意見交換をする中で、新しい気づきをいることができました。今回学んだことを所属で共有し、実施していきたいと思います。</p>
<p>・大きな声でゆっくり話す、子どもが飽きない工夫をこらした交通安全教室を行う。くり返し学習の大切さを実感したので、現場にフィードバックしたい。</p>
<p>・地域の関連各所ともっと関わりを持とうと意識しました。</p>
<p>・交通安全教室内で活用していきたい。</p>
<p>・伝え方を工夫するだけでも、受け手の今後の交通安全に対する意識が変わってくるというのが数あるかざある中でもこれからの交通教室で一番活用したいと思った点です。</p>
<p>・幼児・児童の発達に合わせた教育を行って、手助けをしすぎず、出来たときはきちんと褒めて自信をつけてあげたいと思いました。高齢者の教室では一方的に話を聞いてもらうだけでなく、発言したり話し合ったりと高齢者自身が参加する時間を増やしたいと思います。</p>
<p>・高齢となり人とのつながりも少なくなってくると思います。高齢者が安心して歩け又運転できる様に少しでもお役に立ちたい。高齢者講習会をひらきたい。</p>
<p>・幼稚園・保育所・小・中・敬老会などの教室、朝登校時の立哨に少しづつ取り入れて行きたい。</p>
<p>・腹話術を取り入れて交通安全を指導していきたい。</p>

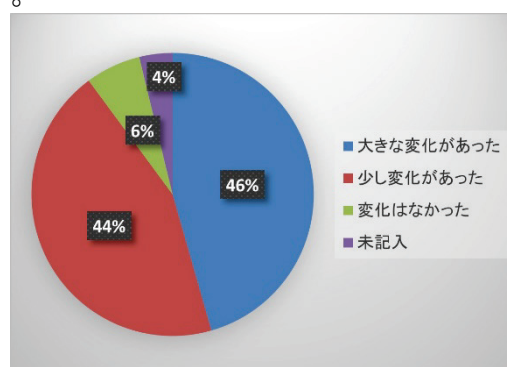
・話し方について、子ども達にわかりやすく、伝わるようになっていきたいです。
・各交通教室等で+αで活用する。
・話し方講座では、知っているようだが、改めて教えてもらったので今後は意識して取り入れていこうと思った。
・交通安全教室を行うにあたって、話し方やアイテムなど活用していきたいと思います。
・新しい手法を教室等で実施する。
・話し方などはとても参考になったので、活用したいと思いました。
・警視庁さんの講話であった手品やケンちゃん(腹話術)など教室前の導入部分がとてもわかりやすく、実際にも使ってみたいという気持ちになりましたので参考にしたいと思いました。
・幼稚園、保育園等で教室を行う際に導入部分で気を引くために手品などを取り入れてみたいと思う。
・安全教育の技法を活用したい。
・各自治体活動を参考にし幅広く活動して行く。
・傾聴の大切なこと、交通事故被害者支援センターの役目
・自分一人ではなく、自己の所属する団体に広げて組織ぐるみでの指導に活かしたいと思います。
・受講者に対する話のアプローチ方法、これまでの一方的な講話だけでなく「考えさせる」という手法を取り入れることの大切さを今後の講話に取り入れたいと思います。
・グループ討議では、高齢者教室で皆様が、飽きがないように、色々な工夫をされている話を聞けてとても参考になりました。積極的に、取り入れていきたいと思います。
・今後の交通安全教室等に効果的な話し方をしたいと思う。
・今までの教室で不足していた授業内容に、プラスアルファ的に補てんした形で活用したと思う。
・「いきいき運動」を活用しアクティブラーニングを実施したい。
・自分が行う交通教室で話をする時に引き込むために活用したい。
・対象に応じた話し方、個別指導と全体指導での話し方の使い分けをする。一方的に教えるというより、考えさせることに重点を置くようにしたい。
・現在取組していない事業や、より効果的な実施が可能であると考える事業について活用していきたいと考えています。

< 思わないと回答した理由 >

- ・活用する機会がない。

6. 本講座を受講して、意識に変化はありましたか。

	人数	割合
大きな変化があった	36	46%
少し変化があった	35	44%
変化はなかった	5	6%
未記入	3	4%
合計	79	100%



<「大きな変化があった」と回答した理由>

<p>・様々な県での取り組み、現状を知る事が出来て普段の職務にも活かせる話が多々聞くことができたから。</p>
<p>・全国の交通安全に携わる方々とのお話で、自分自身ももっと知識や技能を身につけなければならないと強く感じました。</p>
<p>・もっと交通安全に対する知識を身に付けて伝える人(幼児、学生、高齢者)に分かりやすく適した情報を伝えていきたい。</p>
<p>・子どもの特性を知り、声掛けや見守りの仕方を工夫してみようという気づきをいただきました。</p>
<p>・交通安全の重要性を臨場感をもって感じられた。</p>
<p>・交通指導員として出来ることは限られていると感じていたが、他県の話を知ると様々なアプローチ法があると気づかされました。今後活かしていきたい。</p>
<p>・事故を起こさない、遭わないように指導していますが、その中に被害者支援の気持ちに寄り添うことが自分の中では少なかったと反省し、これからは被害者・家族の気持ちにも寄り添いながら活動していかなければと感じました。</p>
<p>・講座を受講して、今まで常識だと思っていた指導の仕方では不足な部分もあるのだと学びました。どうしたら適切なのかも教えていただけたので、今後よりわかりやすい指導の実現に努めていきたいと思いました。</p>
<p>・指導すればいいだけではなく子どもたちが発言行動したことに対して沢山褒めて承認欲求を満たしてあげることで、もっともっと覚えようちゃんとやろうという子どもたちが増えてほしいと思いましたし、個人的にも努力を重ねて市が交通事故ゼロに向かっていけるような対策啓発活動を出来ればと思っています。</p>
<p>・従来のやり方に加え、今回学んだ効果的な手法などを積極的に取り入れていきたい。</p>
<p>・交通死亡事故の被害者家族の方の話を聞いて、あのような思いをする方を一人でも減らさなければいけないと思い、交通教育について、さまざまな観点から行きたいと意識が向きました。</p>

<p>・何となく、指導員なので相手を導いてあげないと、と思っていましたが、子どもにしる、大人にしる、全部教えるのではなく、自ら気付けるようにサポートしていくことが大切なのだなどと改めて気付くことができました。そのためにアプローチの仕方を改めて考えようと思います。</p>
<p>・いつもの交通教室でやっている事を他の方も同じような事やっていて、「このやり方で良かったんだ」と思えたり、新しいやり方も学べた為、取り入れていきたいと考えようになった。</p>
<p>・同じような活動している人たちの話を聞いて、自分の取りくみの不安点などが改善された。</p>
<p>・まだこの仕事について一年未満ですので知らなかった事もあり大変ためになった。改めて交通安全という事を考えさせられた。</p>
<p>・やや抽象的ですが、新たな知識やロジックを獲得したことにより、考察する幅が広がった。</p>
<p>・全国に自分以上に工夫をこらして熱心に活動している仲間がいることを知り意欲が高まりました。事故被害者を増やしたくないという気持ちも高まりました。</p>
<p>・日本中から来られた方から交通安全のため熱心に取り組んでおられる様子を知り私もがんばっていこうと励まされました。</p>
<p>・従来の講座より深掘りの内容が多かった。</p>
<p>・多分野について学べ、興味深かった。特に、山口教授のお話の中で、小学生の自転車教室については、日頃から同じ問題点を感じていたので、今後の教室に活かしていきたい。</p>
<p>・他県の皆さんの様々な取り組みや意見を伺い大変有意義でした。</p>
<p>・子供や高齢者と接する際、敬う気持ちを持つのは当然として、知識と技術も必要で、身に着けていこうと思いました。</p>
<p>・子どもの成長や高齢者の特性を理解した上で教室を行うことで伝わりやすくなり、指導員としての意識や責任が高まりました。</p>
<p>・今、現在活動を行っていますが、交通教室等がマンネリ化しつつありますので今後は、新しく本講習会でテクニックを収得したので使用します。</p>
<p>・他の参加者の意識が高いので刺激を受けた。</p>
<p>・グループ討議や各グループの報告を聞いて、共感することがあったり、なるほどと気付くこともあり、大変よかったです。</p>
<p>・高齢者への対応の仕方が分かり、やりやすい方法が見つかったから。</p>
<p>・他地区の交通教室の内容だったり、教材を話し合うことができたりしたので良かったと思いました。より一層、教室の内容を改めて考え直したいと思いました。</p>
<p>・他県の方の話や講師の方のお話をきいて、やはりみんなが最終的に目指しているのは「交通事故をなくす」ということであり、そのために色々工夫して皆さんが指導していることを改めて知り、自分自身も、もっと力を入れて指導していこうと思った。</p>

<p>・他県の取組みを知ることが出来た。私にもまだやれることがあるのではないかと。マンネリ化してしまっていたが、スキルアップし、どんどん発信していきたいと思うようになった。</p>
<p>・他の自治体活動内容を聞き自分達自治体でも内容を検討し、更によりいい活動が出来る様に努める。</p>
<p>・今まで自分の行動だけを意識して、講話や講習会に携わっていたと思います。聞いてくれる方や参加者が、引き込まれる(導入などの)工夫もはずかしがらずにやりたいと思います。</p>
<p>・これまで話し中心の考えでなく、対象者の年齢等に合わせたより踏み込んだ対象者を巻き込む講話という意識が出てきました。</p>
<p>・強制的に指導していたが、改めてお願いをしますに変えたいと思います。</p>
<p>・きまりきったことを毎回同じようにおこなっている(マンネリ)自分の意見も発言しながらアクティブラーニングにもっていききたい。</p>

<「少し変化があった」と回答した理由>

<p>・自分の町にとって何が足りていないのか? どういった取組みをしていったら良いか考える良い機会となった。</p>
<p>・通例化している安全教室の内容をもう少し受講者の目線そして能力、生態学的なものを考えてやる必要があると感じた。</p>
<p>・各地域でのやり方や指導内容など、取り入れてみたい内容がいろいろと学べた。もっと調べてみたいと思っている。</p>
<p>・以前から子どもの交通安全教育には、大人も同様にルールを守るような気持ちを育てる取組みが必要と考えていたので、今後その方向性でアプローチできるよう具体的に動き出そうと思いました。</p>
<p>・グループ討議や他地域の事例発表を通して、交通安全指導者という同じ立場の方々との意見を交わすことで、それぞれが持っている指導に対する意識や姿勢に刺激をもらい、今後の活動をするにあたって今まで以上に真摯に取り組んでいこうと思うさらなる意識の向上が得られたように感じる。</p>
<p>・より一層「安全について考えることが大事」と再認識した。</p>
<p>・自分が指導者としての自覚が持て、話し方などを気を付けていこうと思いました。</p>
<p>・事故防止のための注意点を掘り下げることで明確に意識することができるようになった。</p>
<p>・生涯教育としての交通安全指導の大切さ重要性をあらためて(原点に戻って)考え直す機会となりました。誰でも分かっていることを(やってるよ)ということを受講される方に伝えること、講話をさせていただく私自身の意識・意欲をより高めていこうと心を新たにさせていただきました。</p>
<p>・各種統計などを見て感動。</p>
<p>・交通安全教室が持つ意味に変化があった。特に高齢者に対しては、日々の生活の生き甲斐にもつながる取組みにもなると思った。</p>

・意識というよりは、「大勢の人が、交通安全の為に頑張っているのだ」とモチベーションが上がった。
・他市の方々と情報交換ができた。
・再認識出来ました。
・自信ある態度で指導していきたい。
・現状を知ることができ、自身の意識が高まり、いろんな場面で試してみたい内容もありました。ただ、県のブロック講習会や交通指導員研修会を受けていたため、同じ内容もあったので少し変化があった回答にさせていただきました。
・笑いの重要性を感じた。肩の力を抜き受講・実技参加する事で受け入れ易い。
・専門的な講義を聞いたり、他県の交通安全担当の方と討議などして、刺激を受けました。
・園児に対しての話し方で幼児語を少なくし、丁寧な言葉で接してゆく様にする。
・改めて自分の仕事を見つめなおす機会になり、他の出席者の意見を聞くことで、今後の教室の内容等に反映させたいと思うよい意見をたくさん得られた。
・改めて、全国の交通安全の取組を直接聞くことができた(生はいいです)。ただオンラインより直接の方が良く思いました。
・実践できるかは別として、交通マナーへの正しい理解は進んだと思う。
・幼児へのアプローチの仕方を考えないといけないと思った。
・改めて交通安全活動の大切さを感じました。少しでも事故を減らせるように、真摯に取り組んでいきたいと思いました。
・自分自身の日ごろの運転についての意識の変化や、交通安全教室を行っていく上でも、こちらから伝えるばかりではなく、相手について知ることや、「できない理由ではなくできるようになるには」を考えるようにしようと思った。
・登校時、安全教室について、今まで事務的に行っていたが、参加された皆様の取り組みの熱意を見て、自分も一歩踏み出す気持ちになりました。
・心理学に年齢別の考え方、反対にドライバーの心理を考える必要を感じた。
・自動車の運転は初心者であるため、慎重になる一方で、自転車の運転は慣れており、危ない運転をすることもあると思うため、気を付けていきたいと思う。
・交通安全指導者として今後の活動に、従事するためになりました。
・講話の仕方、聞き手へ伝え方が、討議の仕方など、とても参考になり、取り入れていきたいなと思います。
・自分の認識不足を感じた。
・話をする際の話し方から表現方法といった多方面からの交通安全について知ることができたから。
・他県で同様の活動をしているの方々と話し合うことで、改めて他者の命をあずかる意識、事故防止の取り組みの大切さを確認できた。
・現状の事業において気づいていない取組や、より良い内容での実施が可能と考える事業に気づくことができました。

7. どの講義が役に立ちましたか。(複数回答可) * 敬称略

講義名	人数
①「交通安全指導における効果的な話し方」(藤原徳子)	52
②「交通事故被害者支援について」(中土美砂)	33
③「交通安全教育デモンストレーション」(警視庁 交通総務課 交通安全教育指導係)	49
④「子供の交通安全教育について」(山口直範)	59
⑤「いきいき運転講座」(池田佳代)	47
⑥「自転車の安全利用のために」(彦坂誠)	46
未記入	0
合計	286

8. 具体的にどんな点が役に立ちましたか。感想等ご自由にご記入ください。

<p>・心理学的の観点から交通行動を考える講座で、こどもの行動の特徴だったり、どういったアプローチが有効なのか知ることが出来て大変勉強になった。また、指導員としての話の組み立て方や、わかりやすく話すためのコツ等役に立つと感じた。(講義①、③、④、⑥に対して)</p>
<p>・①話す時の見る方向②実際に被災された方の生の心情③安全教室における新たな手法④子供の生態学的条件を理解したうえでの安全教育方法・自転車の乗り方教室ははたして入学時が適切かという疑問・北欧の子供が死亡事故ゼロ⑤高齢者になっても運転したい、また運転しなければならない方々へのより効果的な安全教育の方法(講義①～⑤に対して)</p>
<p>・講義の組み立て方や話し方、話の導入部や指導方法等、今後の交通安全教育で取り入れていきたい内容が数多くあった。取り入れられるものから活用していきたい。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・④に関しては、子どもの発達の特性を踏まえた指導について理解が深まりました。今までの指導を見直し、改善するべき点を洗い出そうと考えています。また保護者へのアプローチ、地域を巻き込んでの交通意識の向上など、実行可能なものから今後の活動に取り入れたいと思っています。⑥に関しては、自身も疑問に思っていたルールの話が聞けて理解することができました。自転車に関しては指導の経験がほぼ無く、恥ずかしながら初めて知る事柄が多かったため、大変勉強になりました。(講義④、⑥に対して)</p>
<p>・講話の組み立て方、導入のやり方、話し方、様々なところで「気づき」と「学び」を得ました。(講義①、③に対して)</p>
<p>・①…効果的な指導をするにあたっての基本的な話し方を学ぶことができてよかった。②…交通事故被害者家族のその後のリアルな状況を知り、交通安全で守るものは命だけでなく生活そのものを守ることだと強く感じた。③…他の地域の教材を目にすることはなかったので、新鮮でとても参考になった。④…保護者向けにも興味を持っていただけそんな内容がいくつもあったので、今後の参考にしたい。⑤…今後の教室で安全運転を伝える参考になっただけでなく、自分自身の運転を見直す機会にもなった。⑥…実際に講話をするにあたってわかりやすい表現が参考になり、またヘルメットについての選ぶ基準も知ることができて勉強になった。(講義①～⑥に対して)</p>

<p>・①について交通安全指導のみならず、あらゆる講師の時に有効と感じた。②について伝えつづけることが大事。日常の自分には理解できないことがらを知れた。④すばらしかった。参考になることが極めて多く、今後安全教室などで活用したい。⑥について、ルールが参考になった。交通事故ストーリーなどのグループセッションは参考になった。ヘルメットの選定・着用方法も参考になった。「非注意性盲」は参考になった。(講義①～④、⑥に対して)</p>
<p>・すべてです。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・話し方や視線の向け方。また、飽きさせない指導などが為になりました。(講義①、③、④、⑥に対して)</p>
<p>・指導する際の話し方を学ぶことができた。(講義①、③～⑥に対して)</p>
<p>・①藤原先生の講義で保護者をまきこんだ教室という内容です。グループ討議でも話し合いましたが、問題点が多くなり結果どのような事をすれば良いか？結論はでませんでした。是非藤原先生の具体的な方法等、聞かせていただきたいと思います。(講義①に対して)</p>
<p>・どの講義も本当に勉強になり、あっという間の3日間でした。その中でももっと話を聞きたいと思った講義は3つあり、山口先生の「子供の安全教育について」、池田先生の「いきいき運転講座」、彦坂先生の「自転車の交通安全教育について」です。どの先生もお話しするのに慣れており、ユーモアも交えてとても分かりやすく時間を忘れて聞き入ることができました。山口先生の講義で印象的だったのは、「子供は未発達だという事を大人が理解をする」という言葉が印象的でした。当たり前の事の様ですが、先生のお話では経験してきたお話とデータに基づくお話でこれまでの理解を大きく超えてくるものでした。私も3児の母ですが、分かっているようで理解出来ておらず、行動も伴っていませんでした。改めて考え直そうと思い、今後は子供から学ぶ場を奪うこともしないように、楽しく一緒に交通安全教室をやっていきたいです。池田先生の講義では、高齢者学級などで交通講話をするにあたって、ただ情報を伝えるだけでなく、本人たちが考え話し合う事が重要なのが分かりました。今後、高齢者の講話では今回のお話を参考にしたいです。最後に彦坂先生の講義で印象的だったのが、学生たちが指導者として講話をしたり、幼児や児童たちに交通ルールを教えることで、互いに交通ルールの興味や関心が高まるというものでした。私はこれまで、自分が教えることに疑問を持ちませんでしたが、学生による学生のための交通指導はとても良いと思いました。また「非注意性盲」初めて聞く言葉でしたが、イヤホン着用の実験など分かりやすかったです。これは、高校生でもイヤホンを付けての自転車乗用はどういうことになるかが分かると思いました。以上、3つの講義で得た知識を活用し、今後も地域の交通安全をより良いものになるよう励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。(講義④～⑥に対して)</p>
<p>・行動科学という視点で、話すコミュニケーションをとると考えたことはありませんでした。小中学生に対する講話・話し方は長年の前職の関係でそこそこ心配はないのですが、乳幼児、高齢者に対しては少し不安がありました。基本的な考え方は全ての年代で一緒であることも分かりました。長年、「ほめて育てる教育」を実践してきましたが、高齢者もほめて育てていきたいと思えます。教育論も内容にたくさん出てきました。とても藤原先生に興味をもちました。ありがとうございました。(講義①に対して)</p>

<p>・特に警視庁の方の交通安全教室のやり方を見て子供やお年寄りの言葉の使い方や興味のひき方自分も実践してみたいと思うところがたくさんあった。(講義③に対して)</p>
<p>・デモンストレーションは少人数での教室のやり方の参考になった。それぞれの講義を聞いて、教室のやり方の岐路に立っていると感じた。受動的なやり方から、能動的なやり方にしていた方が良いか、同じ職場の仲間と話し合うきっかけになると思う。(講義③～⑥に対して)</p>
<p>・子どもへの接し方で日々の承認(おはようなどの声掛け)で心を満たしてあげることの大切さ。どんなタスクでも自力で完遂したものでしか自信は付かない。子どもの行動特性を理解して、事故を防ぐ事も大切。危険から遠ざけるばかりの教育ではなく考えさせる領域を残しておくなど、目からウロコの気付きをたくさんいただきました。(講義④に対して)</p>
<p>・②団体の存在すら知らなかった。⑤すぐに実践に役立ちそう。(講義②、⑤に対して)</p>
<p>・効果的な話し方(+デモンストレーション)…内容だけではなく、話し方、惹きつけ方、どうすればわかりやすく伝わるのか等とても勉強になりました。・被害者支援…未体験の出来事に対して想像力が不足していたと痛感しました。総じて知識を披露するだけでは伝わらない、対象者の状況、特性、状態を踏まえて確実に伝えることを念頭に置かなければならないと思いました。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・腹話術の実演、また解説しながらの講話がとてもためになりました。また、子どもに関しての理解が深められたと感じます。どう伝えたら良いのか、どんな事に興味関心があるか。そして国内と海外での文化の違い、家庭・親の意識の違いも学びになりました。ルウェーのように国の施策として安全教育をすることはもちろんのこと、日本人特有の過保護すぎる子育てが、子どもの自立を遅らせていること、よく理解できました。(講義①～④に対して)</p>
<p>・海外の情報を伝えていただいたこと。(講義④に対して)</p>
<p>・再認識出来ました。(講義⑤に対して)</p>
<p>・腹話術をやってみたいと思っていたので、チャレンジしてみるきっかけになった。(講義③に対して)</p>
<p>・すべての講義が身になる貴重な時間でしたが、初めて受けた講義を選択させていただきました。①指導員として人前で話すことが得意ではない自分にとって、とても参考になりました。④海外の交通安全を知る機会があまりなかったので勉強になりましたし、実験もとても面白く子どもの特性を生かし、子ども自身が成長でき親、保護者としても参考にしていきたいと思いました。(講義①、④に対して)</p>

<p>・(藤原先生) 相手の話を復唱する際は、相手の使った言葉で繰り返すお話で、先生の事例を聞いたときに異様な感じがしたので、私も気を付けていこうと思いました。(中土先生) ご自身のつらい体験をお話くださり、ありがとうございました。先生の言葉が出ずに止まる姿に私も涙が止まらなくなりました。以前「生命のメッセージ展」のちらしを拝見したときに、チラシに映る等身大のパネルと靴を見ただけで涙がこみ上げ現地に赴くことができなかったので、次回は足を運んでみたいと思います。(山口先生) 大人が安全確認をしてくれるという甘えで子どもたちが安全確認をしない光景が、大人が目隠しをするだけで、こんなにも子どもは自ら安全確認をするようになるのかと大変驚きました。弟と渡るときにも安全確認をたくさんして、僕が守るという強い意志が感じられました。(彦坂先生) 自転車のルールはたくさんあり、難しいですが、高校生などの学生に小学生の自転車教室などの講師をしてもらおうと発想がとても興味深かったです。話を聴くだけよりも自分が学んだことを人に教えることで着実に理解できるのでいいことだと思いました。(講義①、②、④、⑥に対して)</p>
<p>・すべての講義が参考になる内容ばかりでしたが、その中でも藤原先生のロジックツリーを用いたスピーチや現代の子供たちの思考や傾向、山口先生のピグマリオン効果や初心者用の自転車教室が小学校中学年に適しているのかどうかなど、とても勉強になりました。(講義①、④に対して)</p>
<p>・効果的な話し方については、実際の安全教室に取り入れてみようと思える項目があったので良かったです。また、交通安全教育(こどもの)では教授が実際に行ってきた実証実験(大人の手を借りずに幼児だけでもしっかりした左右を確認して自分の判断で渡ることができたなど)の映像を見ることができたり、とても分かりやすかったです。(講義①、④、⑥に対して)</p>
<p>・特に⑤「いきいき運転講座」は初めての受講で大変意義あったので、今後高齢者等の交通安全教室で参考にさせていただきます。(講義⑤に対して)</p>
<p>・先生方のそれぞれの専門分野から、普段自分だけでは気づかない視点での講義で、非常に興味深いお話を伺えました。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・③デモンストレーションは、実際に詳しく説明をしていただきわかりやすく、今後役に立ちそうだなあと感じました。資料としてもらえるとうれしいなあと感じました。腹話術が、導入しようか考えていたので、難しいと思っていましたが、考えが変わりました。④山口先生の話がとてもおもしろかったです。小学生の自転車教室の内容について改めさせられました。(講義③、④に対して)</p>
<p>・話すときの目線や話し方聞き方など。・自転車の交通ルールやヘルメットの選び方など。(講義①、⑥に対して)</p>

<p>・指導員の仕事について四月から学びながら教室を行ってきましたが、自分の知識や指導の内容については、なかなか自ら学んでいくことをしていなかったため、今回の研修ではさまざまな方面からの知識をいただきました。警視庁交通総務課の指導係の方々はとても笑顔が印象的で内容も一人でも教室ができるような内容でデモンストレーションをしてくださいました。私たちは2人で行っておりますが、どちらかが休んだら教室を延期してもらっていましたので、今後どちらかがいれば行えるという教室のあり方を学びました。</p> <p>子どもの交通心理学というものにもとても興味を持ちました。大人が交通ルールを守っていなければ、それを見ていた子どもはルールを守らなくてもいいという間違っただけの学習記憶を持ってしまいます。就学前の子どもは相手の立場から物事を見ることができないという自己中心性がどうしてもでてしまうという事も事故につながる要因だということが、なるほどと思いました。危険感受性というのは小さなころから自分自身で考え行動しなければならないという事もドイツでは当たり前のように親が子に熱心に教えているという事もとても勉強になりました。いきいき講座は、高齢者にグループ討議を行ってもらおうという斬新な教室で話すことで間違っただけの知識を改善し正しい行動ができるように交通安全力をアップさせるという楽しい講座だと思いました。脳トレも一緒に行う為いきいきしてくるといふ活力を見出す教室になりそうです。自転車の交通ルールへの意識も人それぞれであるという事。もう少し早い幼児の段階から標識やルールを教えていかないといけないことを学びました。(講義③～⑥に対して)</p>
<p>・交通心理学と発達心理学から見る交通指導が個人的に悩んでいたことを解決してくれる内容で、さっそく実践したいなと思いました。交通犯罪のご遺族の話を実際に聞く機会はなかなかないので貴重な体験でした。いきいき運転講座の内容やヘルメットの種類について詳しく知ることができて良かったです。グループ討議の際、他の団体の取り組みを知ることができて勉強になりました。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・どの講義も、普段の交通教室で話している内容からプラスされて話をしてくださっていた為、とても勉強になった(ヘルメットの安全認証マークがある事は知っていたが、SGマークはハードシェルタイプが多い事やJCFマークはソフトシェルタイプが多い事など、細かい部分までは知らなかった等)。次回交通教室を実施する際に話をしてみたいと思える内容だった。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・発達に応じた教育という考え方は今まで自分になかった。(講義④、⑥に対して)</p>
<p>・地域によって色々な立場の人がいて、活動の仕方が違うと感じました。ただ私達指導員という立場のものがどこまで立ち入ることが出来るのか？それが難しいことだと感じました。(講義③に対して)</p>
<p>・交通安全指導における効果的な話し方について「してください」が命令口調でいけない事をはじめ知った。サンドイッチ法での伝え方など実践に役立つコンテンツが沢山ありました。(講義①、③～⑥に対して)</p>
<p>・②については、事故にあった当事者(ならびにその家族)の理不尽さを垣間見ることができ、事故に遭わないことを講話で話す際の参考となった。④については、保護者への啓発機会の重要性を強く感じる事ができた。⑥については、相対的に自転車に関する状況について、最新の知見を得ることができた。(講義②、④、⑥に対して)</p>
<p>・「あぶない」ではなく「止まれ！」のことばかけ。山口氏 話の構成。結論を先に述べる。藤原氏などです。(講義①、④に対して)</p>

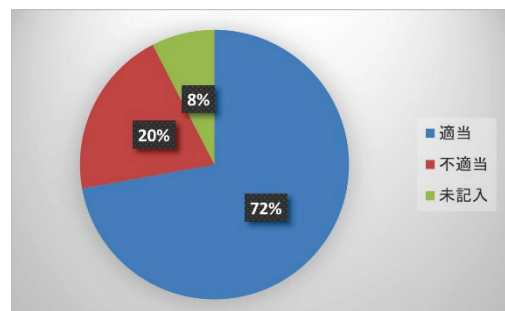
<p>・①相手に伝わりやすい、講話の構成に役立てる。⑤今使っている教材の再確認できた。⑥自転車のルールの再確認できた。(講義①、⑤、⑥に対して)</p>
<p>・歩行者としての子供の身体的、精神的特性について、これまで知らなかった情報が多く、非常に参考になった。また、説明も理解しやすかった。(講義④、⑥に対して)</p>
<p>・幼児の成長による交通安全教育のアプローチや話し合いによる気づきが得られたこと。(講義①、④、⑤に対して)</p>
<p>・警視庁の方の、教材がなくても手遊びで交通安全のための意識を高められる具体的な指導は実践させていただこうと思いました。空き時間を埋めなければいけない時に自分の引き出しがたくさんあった方が自信にもなります。(講義③に対して)</p>
<p>・色々な分野で深い学びが出来た。(講義①、③～⑥に対して)</p>
<p>・自転車事故の交通安全教育のポイントに関する講義は、とても分かりやすい内容でした。高校生や高齢者に自転車のルールやマナーを伝える際の参考とさせていただきます。また、山口先生が人間の発達段階に合わせた教育が必要だとお話されていたことが印象的でした。ただルールやマナーを伝えるのではなく、年代に応じた教室内容を考えたいと思います。(講義②～④、⑥に対して)</p>
<p>・山口教授の子どもの自転車教室について、すでに自転車に乗り慣れている子どもにも楽しく学べる教室のやり方の具体例。いきいき運転講座のアクティブラーニング。自分の行動を客観的にとらえられ、さらに、グループワークすることで他の人の意見や考えを受け入れやすい。(講義④、⑤に対して)</p>
<p>・普段意識していない事や忘れていた事に改めて気付かされました。さすがプロフェッショナルです。(講義①、④～⑥に対して)</p>
<p>・実際の講義の進め方も教室を行う上で参考になった。また、様々な観点から交通安全について考えることができ、どの講義でも教室等で使用していきたい事柄があった。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・交通事故をなくすためにという志は会場におられた方、オンライン参加の方々みんな同じで、それを強く感じられた点です。まだ講習を受けたばかりでございますので、教を胸に今後の交通安全指導に生かして参りたいと思います。</p>
<p>・山口先生の講義は大変興味を引く内容で面白かったです。自分たちがやってきた交通安全教室が、今までは子どもたちに一方的に教えるばかりの教室になっていなかったか、改めて考えるきっかけになりました。子どもたちが自ら学ぶ機会を大切にして、能動的な交通安全教室を作っていきたいと思います。(講義④に対して)</p>
<p>・教室の参加者が、感心を持つような教材の使い方、幼児・小学生が自ら参加したがる、ゲーム、クイズを取り入れる。保護者・学校・地域を巻き込んでの取り組み、幼児期からの繰り返しの取り組み。(講義①、④、⑤に対して)</p>
<p>・幼児Aです。腹話術etc子供達に興味をもたせて交通ルールの指導していきたい。運転について過信を戒め慎重に運転することを学んだ。(講義③、⑤に対して)</p>

<p>・私は文章を考え話をするのが苦手ですが、効果的な話し方を受講し是非やってみていと思いました。そしてこれは教室だけでなく、普段のコミュニケーションをとる上でもわかりやすく、自分の自信にもつながりそうです。(講義①、③に対して)</p>
<p>・普段の活動に対して、経験以上にスキルup出来た。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・知らなかった事や自分が普段行っていない教材などを教えてもらえた。(講義①、④～⑥に対して)</p>
<p>・受講したばかりなので、すぐに教室内容に取り入れることは、難しいですが、来年度に向けて、これから計画を立てていくので、相談しながら取り入れていきたいと思えます。話し方については、すぐに職員間で共有していきます。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・自転車ヘルメット着用に係るデータ(講義⑤、⑥に対して)</p>
<p>・指導者に求められる能力。知識、経験、技能を積み上げる。自力で完遂したものではないと自信につながらない。事前準備をして場数をふむしかない。・子供の特性を理解した上での指導。危険から遠ざけるばかりの教育。自ら学ぶ機会を奪わない。(講義①、④に対して)</p>
<p>・グループでの話し合いの際、指導者と現場での誘導のみの方がいて、同じ人同士で話し合った方がもっと良い意見が出たのでは??と思いました。教材を何をつかってなどもっと詳しく知りたいと思った。(講義①、③、④に対して)</p>
<p>・①の話し方講座のときには、順よくお話することが大切だと思いました。思考整理の際の表がとてもわかりやすく、普段のお話のときも意識して講話などやっていきたいと思えました。③のデモンストレーションではまずマイクの必要性を知りました。聞いている人がもっと知りたいと感じさせるための伝える力、をつけることが大切なんだと気づきました。(講義①、③に対して)</p>
<p>・③子どもの気を引くための導入部分や、高齢者向けの話の持っていく方、そしてそのレポーターがとてもタメになった。④子どもの特性をまず理解することが大切で、その特性を生かしながら指導していくのが大切ということが分かった。(講義③、④に対して)</p>
<p>・すべての講義が、現在業務に関係あることで、すぐに行動することができる。(講義①～⑥に対して)</p>
<p>・子供の特徴がよく理解できた。(講義④に対して)</p>
<p>・講師と受講者が一体と成って講義を進めていくの良い事だと思う。ただ聞くだけでは講義に対する緊張感が違う。(講義③、⑤に対して)</p>
<p>・今後の交通安全活動に、特に④「子どもの交通安全教育について」は、子どもの視点に立って考えさせられることが多々ありました。(講義④に対して)</p>
<p>・①交通安全だけではなく、他分野においても大変参考になるものでした。③はずかしながら実践する勇気もらい、やってみていと思えました。④心理学をとおした子どもの見方、共感いたしました。⑤実際の講座の「台本」に添った進行でわかりやすくありがたかったです。①～⑥どれも有意義でした。(講義①、③～⑤に対して)</p>
<p>・特に池田先生の「いきいき運転講座」です。受講者に対しての「気づき」を与えることに共感を覚えました。池田先生の話を自分なりにアレンジした講話を目指そうと思えました。(講義⑤に対して)</p>

<p>・①話し方、ロジックツリーを取り入れて、わかりやすい話し方、聞き手にとって聞きやすい話し方を参考にしたいなと思いました。②被害者の方の実際のお話を聞いて、これ以上悲しむ人がいないように、しっかりと交通安全教室で交通安全について伝えていきたいなと思いました。⑤一方的に伝えるのではなく、討議を交えながら、一人一人が話をして、意見をいう環境をつくるような講話のすすめ方を取り入れていけたらなと思いました。(講義①、②、⑤に対して)</p>
<p>・効果的な話し方、方法(コツ)。・関心を持てるような話。・子供に自ら体験させ、それを見守ることも大切である。・一方通行ではなく、話し合わせる事も必要である。(講義①、③～⑤に対して)</p>
<p>・山口教授の講義は、学生に教えている立場から分かりやすく、「幼児の発達心理」等、子供の交通安全教育に大いに役立つ内容であった。特に、自転車運転のための交通安全学習は今後の安全教室に生かしていきたい。(講義④に対して)</p>
<p>・1.人の前に立った時の「話の心得」特に視点法、伝えたいことの明確にすること。2.子供の心理を改めて考えさせられました。3.受動的におこなっていたということを感じたのでアクティブに参加型にしていきたい。そして考えて学んで欲しいと思った。(講義①、④、⑤に対して)</p>
<p>・警察官が実際に行っている方法を直接見るのがすごくよかった。幼児・高齢者で言葉づかいを変えてそれぞれに合わせた導入を行っていて自分たちにも活用できると思ったから。(講義③に対して)</p>
<p>・①話す速度や言葉づかいには気をつけていたが、視線の位置や、相手の言葉をくり返して使うなどは知らなかった部分があったので、今後活用していきたい。④子供の行動心理を学べたため、今後子供に指導するときはそれをふまえた声かけをしたい。(講義①、④に対して)</p>
<p>・①については自分が交通安全講習の講師を行う上で参考になりました。②については交通事故被害者の方がどのような制度を利用できるかということについて、自分の知識が不足していたので参考になりました。③については子ども向けに講習をする場合に、どのように子どもの興味をひくかについて参考になりました。④、⑤についてはそれぞれ子ども、高齢者について今後どのように交通安全講習を実施するかの参考になりました。⑥については自転車の走行ルール等、図解入りでわかりやすく、自分の知識を整理することができ参考になりました。(講義①～⑥に対して)</p>

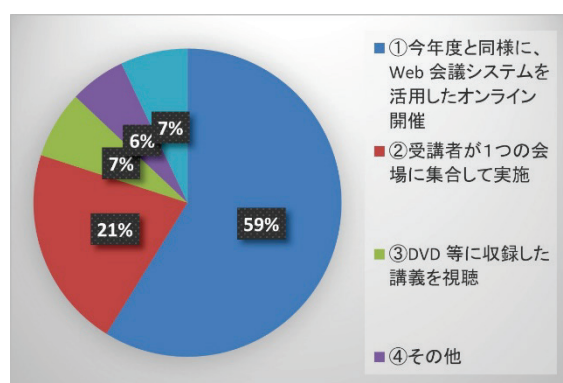
9. 本講座の開催方法：オンラインでの開催はいかがでしたか。

	人数	割合
適当	57	72%
不適当	16	20%
未記入	6	8%
合計	79	100%



10. 本講座の実施方法:どのような実施方法が効果的だと思いますか。(複数回答あり)

	人数	割合
①今年度と同様に、Web 会議システムを活用したオンライン開催	50	59%
②受講者が1つの会場に集合して実施	18	21%
③DVD 等に収録した講義を視聴	6	7%
④その他	5	6%
未記入	6	7%
合計	85	100%



<「その他」と回答した理由>

・やはり生の講義に勝るものはないが、後の補足とするためDVDも活用できるようにすることを望みます。
・1回しか参加できないという点から、2回目以上も参加できる収録した講義の視聴があったら大変うれしいです。
・適当であるがオンラインより会場参加が講義も他者の話も受け入れ易いので、安易にオンライン案内せずなるべく会場参加を推奨してほしい。
・講習者がひとつの会場に集合して実施するのとWeb会議システムを活用したオンライン開催の日程を分けた方が良く思う。
・人間時間がたつと講話内容を忘れる傾向にあるので、講話を記録したDVDで反復聴講することで実効が上がると思います。

11. 今後、改善してほしいところ、また改善策があればご記入ください。

・オンラインにおいて各グループ部屋に入室した後、進行する人がいないので無駄に時間が過ぎた。前もって何番は仮の司会として自己紹介と、役割分担の進行をしてくださいなど言ってもらえるとスムーズに進んだかもしれない。
・できればコーヒーがあればよかった。

<p>・グループ討議のときは問題なかったが、講義「いきいき運転講座」のときにミュート解除しても会場にマイクの声が届かなかった。こちらのマイクと会場のスピーカーのどちらが原因か分からなかったので、確認のためのテスト用ブレイクアウトルームのようなものがあればよかったと思う。</p>
<p>・グループ討議で書記の方がまとめる時間が足りなかったのではないかと。お昼休憩の時間にまとめた方が多かったと思うので、提出の締め切り時間を伸ばすなり、工夫が必要と感じました。</p>
<p>・オンラインでのグループ討議の人数を最高6～7人程度が良いと思う。10人だと、ひとりの発言できる回数が減ってしまったり、会話に入る(挙手する)タイミングが難しかったりするのではないかと感じた。</p>
<p>・実践演習を増してほしい。</p>
<p>・高齢者が多いので60分で5分位トイレタイムを作してほしい。</p>
<p>・1回の講義が長かったので腰痛、頭痛に悩まされました(zoomでの参加)。1回の時間を少し短くしていただけたら集中して参加できたと思います(トイレなども…)。</p>
<p>・司会者としての適、不適があるかと思われます。充実した話し合いにするためにも、事務局の方で適任の方を事前に人選しておくべきだと思いました(やりたいとやれるは別であるかと…)。</p>
<p>・オンラインだとグループ討議の際に書記さんと発表者さんの中で文書の共有がメールでしか出来なく大変そうでした。</p>
<p>・午前中にも1回休憩がほしい。2日目のグループワーク、説明が不十分。せめて進行役だけでも事前に指名するか、受入スタッフが入るなどするとスムーズなのではないかと思います。Wordの環境なども、役割分担に関わってくるので整えられるのかアンケートや確認した方がよいのではないのでしょうか。</p>
<p>・ありがとうございました。</p>
<p>・グループ討議の自己紹介で最初皆さん戸惑いがあったので、ブレイクアウトルームに入る前に「リストの一番上の方から順に自己紹介をお願いします」などお伝えがあるとスムーズにいったのではないかと個人的に思いました。</p>
<p>・他の受講者さん達と接する事が出来る機会をいただけたので、他の受講者さん達の活動についてももう少し意見交換ができたらうれしかったです。</p>
<p>・「事例発表」の件数増と「グループ討議」の時間増により効果が上がるのではないかと考えられた。</p>
<p>・オンラインでは時間内のグループ討議はなかなかうまくいかないような印象がありました。時間制限がある場合に話しているとあまり何分くらい話したか把握できていない為タイマーを使用し時間がわかりやすい音を鳴らしてほしいなと思いました。</p>
<p>・グループ討議ですが、やっていることがそれぞれ違うため(交通指導員で教室をやっている、街頭指導のみの方)意見がまとまりにくく、どちらかという自分のやっていることとかの話になってしまい、問題提起から討議が難しかったので、同じようなことをやっている方同士でのグループ分けをしたらいいと思いました。</p>
<p>・日程の開催月の変更。会場実施とオンライン実施の日程を分けて開催して欲しい。</p>

<p>・会場とオンラインの併用での開催について。今回、「会場受講を主として考えている」と記載があり、自分も会場に行くことを希望しましたが、叶いませんでした。以前より、この研修会に参加し、会場で全国の方々と交流することを楽しみにしていましたので、その点は残念でした。県ごとの人数上限の関係で仕方のないことではありますが、コロナ禍前は全員が会場に参加できていたことや、会場に行った方に向けられた予算等を考えると、不公平感も少なからずありました。オンラインで受講した結果、講義内容はほぼ理解することができましたが、講師とのやり取りやグループ討議では、やりづらい面がありました。それぞれに事情がありオンラインの方が気軽に参加できる方もいるかと思いませんので、ハイブリッド形式自体は良いと思います。ただ、その線引きを明確にいただけると、不公平感も減るのではと思いました。また、当日朝の、最終版以降の資料の変更や追加は、特にオンラインの人には混乱を招きますので、控えていただきたいと思います。</p>
<p>・グループ間の討論ですが、テーマからずれていってしまったりしていた。もう少し何について話し合うのか明確にして欲しかった。はじめからリーダーを決めておくとかしておかないとズレていってしまい、何の話かわからなくなっていた。グループ討論よりもそれぞれ1人1人がどんな活動をしているのか発表する時間欲しかった。参考にできる教材を知りたかった。</p>
<p>・申し訳ありませんが宿泊施設が汚かったです(今回2泊依頼したところ)。</p>
<p>・オンライン受講について、グループ討議があつたが、ブレイクアウトルーム外において受講者同士で連絡をとったり、ファイルを共有するのに苦労した。また、司会・書記の担当者の負担が大きい。役割分担は事務局の方であらかじめ決めておいてもらったほうがスムーズかと思う。書記の討議まとめ提出については、まとめて記入・入力している時間がほとんどなかった。</p>
<p>・日曜日に前のりして、2日間で実施(月曜日の朝から開始)もありかなと思いました。</p>
<p>・オンラインの方とも交流がほしいです。接続がスムーズになると良いと思います。会場参加者との交流時間(日頃の活動を話し合ったり、悩みを相談したり)する時間がほしいです。</p>
<p>・主に交通安全教室をされている方と朝夕の見守りをされている方とでは講座を受ける目的にずれがあると感じました。</p>
<p>・オンライングループの役割分け(司会者・書記・発表者)は事前に事務局側で決定している方が良いと感じました。ブレイクアウトルームでは沈黙が続き、役割の決定に時間がかかりました。</p>
<p>・グループ討議も非常に有意義だったが、交通教室の事例(他自治体等)などをもっと知りたかった(事前に書類配布してもらい、質疑応答したい)。</p>
<p>・2日目午前のグループ討議ですが、他グループの声が漏れていました。出来れば、別部屋があれば…と感じました。</p>
<p>・討論結果のメール送付。早めにメール送付するようアナウンスがあつたが、都合上、ZOOM用パソコンは普段使用しているパソコンとは別で、ZOOM自体も別室で行っており、さらに外部メールにデータを添付するにはLGからネット環境へデータ移送を行わなければいけないため、与えられた休憩時間内や討論時間内ではメール送付しようとすると忙しい。次回あれば、2日目のスケジュールをグループ討議後はメインルームに移動せずにそのまま休憩に入るか、解散時間を早める等してほしい。</p>

・会場での発言が聞こえないことがあった。ホワイトボードの文字は見えなかった。
・オンラインの答弁などはっきりと聞こえなかった。
・男性が少なく、女性の意見に圧倒されたような気がしました。
・DVDの画像を鮮明にして欲しい。もう少し、時間を延長して、ゆっくり教えて頂きたいと思います。
・討論会時に、同じ指導員としても行っている業務がちがひ、まとまりにくかったように思いました。グループ分けを業務内容が同じような方にして頂くと良いかと思ひます。・討論会も良いですが、座談会も入れて頂きたいです。その中で、他の指導員の方が教室でどのようなことをされているのか詳しく知り、自分たちの教室でとり入れたいです。
・オンラインの接続の問題に関しては、事前接続の段階から対策を練る必要があると思ひます。
・幼児グループで話し合いをしたとき、幼児とは関係ない話を話し始めたりする人がいました。幼児ABC…と別れているので、グループ討議の際はもっと細かくテーマを決めていてほしかったと思ひました。子供たちへの交通教室を主に行っている人がいます。事例発表とはまた違ってみんなで普段どんな作業をしているのか意見交換をしたいと思ひました。(どういふ街頭キャンペーンしているのか、どのくらいひん度で教室をしているのか、広報紙の見せ合いなど)もっと今後参考になりそうな話し合いもしたかったです。
・昼休憩はもう少し長めに1h30mほどあった方がよいと思ひます。→昼食時はどこの飲食店も人が多く、店へ行き食べて会場まで戻るとなると1hではギリギリだった。
・オンラインの方の顔もお互いみえた方がよい。
・グループ討論・発表に質疑の時間が設けられていたのに対し、講義への質疑が認められないのは違和感があった。年配の方が多く、質疑を設ければまとまらないことも考えられるが、各都道府県の声を引き上げる意味でも、委託業者でなく内閣府の担当者が出てその場で対応すべき。現に、そのような話をしていた参加者もいた。
・講義数が多すぎる。・講義の内容を充実させる様に、講義数を少なくして欲しい。
・講習担当の私としては、具体的な講話事例の紹介が聞きたかった。マンネリ化になりやすい交通安全教育にならないためにも、もっと色々な方の事例を参考にしたかった。
・オンラインでは様々な環境で参加しているため、その場で司会、書記、発表者を決めるのは、無理があるのではないかと思ひます。司会の方が、皆様、同じ条件なのでおっしゃられていましたが、それぞれ違う環境なので、あらかじめ、誰がやるか決められていた方がやりやすいと思ひます。
・討論をする際の司会者については年齢等を考え事前に選んでおいて欲しかった。参加者の仕事内容、制服等を紹介して欲しかった。参加型の講習にしていた方がよい。例えばスタントマンを利用した講習等を取り入れて欲しい(スケアード・ストレイト)。
・ホテル宿泊施設をもう少し近い場所にしていただければ助かると感じました。予算の関係で難しい点もあるかと思ひますが、もう少し設備の整った場所の方が過ごしやすくと感じました。朝ごはんがついていると会場参加時はありがたかったです。
・グループ討論の際、それぞれの活動紹介の時間がもうけられているとよかった。他県の活動をもっと知りたい。
・私はオンラインでの参加でしたが、会場に参加している方の発言がやや聞き取りにくいこ

とがありました。また会場でもオンライン参加者の発言が聞取りにくかった場面もあったように思います。

12. 講師への質問等ありましたら、ご記入ください。(複数記入可)

※ 受講者からの質問に対して、講師の先生にそれぞれご回答いただいております。

① 藤原徳子先生へ (講座名: 交通安全指導における効果的な話し方について)

《質問・回答》

【質問】

相手からとっぴょうしもない質問がきたとき、どう返答するか考える間を作るためのつなが方を教えてください。自分の伝えたいことを伝える時、頭が真っ白になったとき、相手に不安感を持たせず場をつなぐ方法、話し方を教えてください。【経験年数/1~3年】

【回答】

自身が予想しえない質問をされると頭が真っ白になるお気持ちはよくわかります。「とっぴょうしもない質問」の具体例がないので、ピンポイントでの回答はできませんが、よくある切り返し方は、「今の質問について、皆さんはどのように思いますか?」と尋ね、グループワークのテーマにされるとよいでしょう。また、「私自身、不勉強ですので調べて後日回答させていただきます」と、素直に回答することもよいと思います。講習会では、何を質問されるかわかりませんので、日頃から講習テーマに関する知識を深められることを期待します。

【質問】

交通安全指導において、子供達でなく保護者を巻き込んだ教室、保護者への指導が重要であると話がありました。グループ討議の中でも保護者への指導について、話し合いましたが、問題点が多く、結果どのような事をすれば良いか? 結論がでませんでした。是非藤原先生の中で具体的な方法等あれば聞かせていただきたく思います。宜しくお願いします。【経験年数/3~5年】

【回答】

講習会を始める時、受講者に対する動機づけが重要と考えます。例えば、「子どもは、身近にいる大人(多くは保護者)の振る舞いを見て、社会道徳を学びます。よって、保護者の皆様が、まず正しい交通ルールを習得して、お子様に対して、大人としてのお手本を示していただければと思います」と話して、通常通りの交通安全指導をしていただければと思います。ポイントは、子どもと保護者に同一の内容で講習を行うことに意味があると考えます。子どもは、素直に指導者の話を聞きます。従って、普段の生活で保護者が交通ルールを守らない時、子どもが「違うよ」と保護者に声をかけるかもしれません。つまり、講習会に子どもと保護者が一緒に参加し、結果として、「子どもが保護者の教育をする」というスタイルが望ましいと考えます。保護者が素直であるか否か、この点が、最大の問題です。

【質問】

保護者層を対象とした「話す時の心得」が何かあれば教えていただきたいです。

【経験年数／5～10年】

【回答】

子どもと一緒に参加している場合は、子ども目線でやさしい言葉を用いて、話されるとよいでしょう。保護者だけの場合は、肯定表現に徹して、「～していただけますか？」と、依頼形と尊敬語を用いて指導していただければと思います。

【質問】

ロジカルトークの実例集等がありますか。今後この指導に採用したい。

【経験年数／1～3年】

【回答】

結論を申しますと、実例集はありません。ロジカルトークは、ロジックツリー図を用いた「フレームワーク」を繰り返すことで磨かれます。従って、ご自身で色々とテーマを変えながら、実際に自身が受講者に伝えたいことを整理していくことだと思います。先生が頭の中で思っていることは、アウトプットしなければわからないので、まずロジックツリー図を用いて、ご自身の思考を書き出すところから始めるとよいでしょう。ご自身の生きた言葉で表現すると話す時も、説得力があると思います。自分だけの『事例集』を作成できますね。

【質問】

話し方についてとっても役に立ちそうだと思いました。子供の中でも発達障害を持っている子供が増えています。その子供たちも興味をもつ話し方があれば知りたいです。**【経験年数／20年以上】**

【回答】

一言で『発達障害』と言っても、様々な状況下で、様々な行動傾向が見受けられると推察します。子どもが、交通ルールに対して、どのような点に興味を示すのかがわかると、指導のきっかけがわかると思います。もちろん、教育指導の方法を見出すこともできると思います。そのためには、講習時間内の一人ひとりの振る舞いに目を配り、また一人ひとりの発言に注意しなければいけないため、決められて講習時間内での指導は難しくなるでしょう。発達障害のお子様に関しては、精神保健福祉士や認知行動療法士など、専門家のお知恵を借りていただければと思います。

≪感想≫

・ロジックツリーは、これから使っていきたいと思います。

・よりよく理解していただく話し方を学ぶことができた。

・具体的に楽しく聴かせて頂きました。

<p>・話し方だけでなく、現代人の心理行動について学びになりました。後半がとても興味深い内容でしたが、時間が足りず、理解が追いつきませんでした。ロジックツリーを用いたスピーチトレーニングについて、もう少し詳しく聞きたかったです。また、交通指導に関しての学びもされていると感じました。おかげで自分の仕事に活かせるアイデアをたくさんもらうことができました。ありがとうございました。</p>
<p>・肩の張らない講義であり、約2時間、あっという間に過ぎてしまいました。ありがとうございました。</p>
<p>・交通指導だけではなく、普段のコミュニケーションでも生かせる内容でした。「してください」が命令であることなど、今回初めて知ることも多くありました。同じことを伝えるのも、伝え方がとても重要だということを知ることができました。</p>
<p>・交通安全指導に即役立つコンテンツが多々ありためになる講話でした。最近の若者の倫理観の変貌は私も危惧しています。親世代の私達も改めて倫理というものをもう一度学び直し子供・孫世代に伝えたいです。</p>
<p>・話しかたの基本を全員に体験させることがとても良かったです。話の構成はとても良かったです。聞いていてわかりやすく楽しかったです。隣の人と練習するのも良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・いつ当てられるかとドキドキしながら講演を聴いておりました。交通安全教室で実践させていただきます。</p>
<p>・最初から最後まで、集中させて頂きました。「プロフェッショナル」を感じました。</p>
<p>・大変勉強になりました。</p>
<p>・一番、悩んでいる事をズバリ講演されたので、すごく勉強になりました。</p>
<p>・倫理観の高い人は、交通ルールを守る。・大変勉強に成りました。</p>
<p>・交通安全教室だけでなく、普段から心掛けようと思います。</p>
<p>・自分自身のスキルアップが必要だと改めて感じる事ができました。事前準備の大切さがよくわかりました。場数をふんで行きたいと思います。</p>
<p>・具体的な例話は効果があるので多いに活用したいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>・交通安全指導等の事前準備は参考になりました。今後活用させていただきます。</p>

②中土美砂先生へ（講座名：交通事故被害者支援について）

《質問・回答》

【質問】

交通教室に行くと、稀に家族が交通事故で亡くなっているという方や子どもさんと接することがあるのですが、その際に配慮すべきことがあれば教えていただきたいです。

【経験年数／5～10年】

【回答】

どのようにその情報を得たかにもよります（知られていることで不信感を持たれる方もいるので）、受講することでしんどい思いをする場合もあるかと思しますので、事前に「受講しても大丈夫そうか」を個人情報に配慮しながら確認してもよいかと思います。もし、先方から事件事故の話をしてくるようであれば、黙ってお話に耳を傾けていただけたらと思います。ただし、こちらから聞き出すことは避けていただきたいです。言葉はなくても気にかけて配慮し見守るだけでも「安全」を提供していることになります。

【質問】

交通事故にあわれた方へどのようにしてこの様な会を知ってもらい活用してもらっていったらいいのでしょうか？もっと知ってもらう為にどの様に広めていったらいいかをどう工夫しているのでしょうか。【経験年数／1年未満】

【回答】

このような会、というのは支援センターや当事者団体のことでしょうか？それとも養成講座のことでしょうか？前者と仮定してお答えすると、被害者支援センターは街頭キャンペーンや東京都の広報、警察との連携のなかでご活用くださっています。「いのちのミュージアム」は全国各地での「生命のメッセージ展」の開催、ホームページやフェイスブックでの発信等を行っています。

【質問】

交通事故被害者支援は、埼玉県在住で事故が東京都内の場合等埼玉の支援か東京なのかどちらで受けられるのでしょうか？【経験年数／5～10年】

【回答】

基本的には、刑事手続き（検察庁や裁判所への付き添い）については東京都のセンターで行い、精神的な問題などは埼玉県のセンターになりますが、細かい状況にもよるので一概に支援が受けられるかどうかはまずは電話相談で個別にお話を伺ったからの判断になります。

【質問】

被害者側の支援だけでなく、加害者側に何か自分の行動を見直すきっかけを作る支援などがありますか。【経験年数／1～3年】

【回答】

加害者支援については詳しくはないですが、矯正施設での「生命のメッセージ展」の開催(法務省からの委託)や、2023年12月からは「刑の執行段階における被害者等の心情聴取・伝達」制度が始まっています。矯正施設や保護観察所では各種改善指導(R0～R6)を行っているようです。保護司さんも指導していると思いますが、具体的にはわかりません。

【質問】

被害者支援都民センターで、なぜ頑張られてやられているのですか。

【経験年数／1～3年】

【回答】

頑張っているかどうかはまだまだ道半ばですが、私自身が、被害当時支援を受け、早期支援が「いかに重要か」と感じているから取り組んでいます。知識がない情報がない際の情報提供や、不安な時の付添支援など、振り返れば有難かったと思っています。また、当事者でない支援者であるセンターの職員の被害者支援への熱意に励まされています。

【質問】

ニュースの中に幼い子供の事故が報道されており、何もしていないのに交通事故の被害に遭われるこの現実はとても悲しい。現にそのようになられた方のお話をお聞きし、ひとつでも減らす、無くす努力をしなければと思いました。やはり運転者のモラルなのでしょうか？【経験年数／3～5年】

【回答】

心強いご感想をありがとうございます。死亡にまで至ってしまうようなケースは運転者のモラルのなさは大いだと思います。私も含め運転者であれば、交通弱者にとってみれば大きな脅威です。もちろん、運転をしていれば「ヒヤリ・ハット」はあるものです。その軽微なうちに軽微と思わずその都度運転態度を見直していく必要があるかと思います。ただ、モラルだけでなく若者や初心者など技術的不足や、道路上の構造(車と人が両方青信号など)などのハード面、様々な問題があるかと思います。

≪感想≫

・体験談のお話、明日は我が身！大変勉強に成りました。

・お子さんを交通事故で亡くされて、悲しみを繰り返さないために人前で話をするという決断と勇気、私には考えられないくらい辛く、苦しい道だったと思います。交通死亡事故が1つでも減らせるよう、私も微力ながら尽力していきたいと感じました。これからも悲惨な事故が起こらないよう、活動を応援しております。

・講話をしていただきありがとうございました。悲しみを押さえて話してくださる姿、被害者の心、悲しみを忘れず、交通安全教育にたずさわっていきたくと思います。

<p>・ご自身の体験(次男様を亡くされたこと)を切々と訴えておられて大変だったと思いました。聞いているのはとても苦しい気持ちでした。被害者への具体的な言葉かけ方法などをさらに教えていただくことが参加者に効果的だと思いました。</p>
<p>・ご自身のとても辛い体験を涙をこらえながらお話をしてくださったことに感銘を受けました。私も業務で犯罪被害者支援に関わることもあり、折しも来週、「生命のメッセージ展」を開催します。犯罪被害者遺族の方のお話を伺う機会はそう多くありませんので、大変貴重なお話を伺え、感謝しております。</p>
<p>・被害者側の立場でお話を聞かせて頂きました。私にも亡くなられたお子さんと同じ年の子供がいます。私が先生の立場だったら…と考えると…考えられません。私にとって子供は宝で、自分の命より大切です。何年たとうと先生の心の傷、喪失はいえることなく、今もなお苦しい日々を送っておられるのが伝わってきました。そういった方を1人でも増やさない為にもこの仕事をがんばっていきます。</p>
<p>・なくなられた二男さんへの思い、つらい思いもあるのによくぞお話しされました。加害者にならない様運転には気をつけたい。</p>
<p>・次男さんを亡くされても、犯罪の被害に遭われた方を支援されるという姿に心うたれました。「生命のメッセージ展」応援いたします。</p>
<p>・正直、なかなか向きあうことを避けてしまいがちになっています。自分の心がついていかないんじゃないかと…特にメンタルの部分です。</p>
<p>・ただ悲しい。</p>
<p>・辛い気持ちを押さえての講演、ありがとうございました。交通事故をなくしたいとの気持ち強く伝わりました。和泉市で「生命のメッセージ展」に行かせていただきました。</p>
<p>・辛い経験を持っていながら、被害者支援として力を出しているすばらしい先生です。「ガンバッテ」下さいとしか言えません。</p>
<p>・内容が先生御自身の息子さんの話という事で、私は話に入り込みづらかった。と感じました。ですが普通に接すれば良い…と改めて感じました。</p>
<p>・被害者の気持ちが、どんなものか、心にしみました。</p>
<p>・悲痛な思いを経験されたにも係わらず、被害者支援に目を向けた先生のチャレンジ精神に感服させられた。</p>
<p>・自らが被害者の立場で過去をフラッシュバックする中での被害者支援活動は辛いものがあるかと思いますが、内容にも感銘しました。今後の活動に活用させていただきたいと思います。</p>
<p>・私も兄を交通事故で亡くしましたが、兄をしりません。色々な思いをしている人がいることを知れてよかったですと思います。</p>
<p>・大変勉強になりました。</p>

③警視庁 交通総務課 交通安全教育指導係へ
(講座名:交通安全教育デモンストレーション)

≪質問・回答≫

【質問】

小学校での自転車教室で使える導入の方法はどのようなものがありますか。

【経験年数/3～5年】

【回答】

自転車も信号を遵守しなければならないので、信号にまつわるクイズや、話をしても良いと思います。

自転車も安全確認が重要なので、右・左・右・右後ろの安全確認をその場でやってもらい、その際に何が見えたか(景色でも、自分で作ったパネルを先生方に持ってもらうても良い)、しっかり安全確認ができていないか試す。

自転車や車は「急には止まれない」ということを改めて認識してもらおう。

①受講者から代表者に前に出てきてもらう

②「これからジョギング程度の速度で走ってもらいますが、ピーツと笛が鳴ったら止まってください」と代表者に伝える。

③交通安全教育実施者の「スタート」のかけ声でスタートしてもらい、タイミングの良いところで笛を鳴らす。

④「私は今、この場所(受講者から見てわかるような、校庭にあるポールなど目印になるような物を指し)で笛を鳴らしましたが、〇〇さんはここ(目印)ではなく、過ぎたところで止まりました。

⑤人は目や耳から入った情報を頭で考えて、ブレーキ操作をして、止まるまでに時間がかかります。

⑥自転車も速度を出していると、すぐに止まる事ができないばかりか、衝突したときに、取り返しのつかない交通事故になることがあります。

⑦自転車乗車時は、速度を出さない、止まって安全確認をするなどを徹底してください。

【質問】

スカーフの色を青と赤で実施しておりました。信号の勉強ですよという中で私も風船を活用する時がありますが、緑と赤の風船で「青と赤」と言うようにしていますが緑がいいのか？青がいいのか？考えたことがありました。どっちでしょう…(どっちもありだと思われませんが…)【経験年数／1～3年】

【回答】

「道路でこの色の機械を見たことがありますか？」等の投げかけで受講者(特に子供はすぐに信号！と反応する)はわかっていただけなので、問題はないと思います。

信号の色は、道路交通法施行令第一章 第二条で信号の色は「青色の灯火、黄色の灯火、赤色の灯火」と表記されているので、「青信号」と伝えて問題はありません。

【質問】

地域のイベントなどで交通安全を伝えるときどういう教材を使っているか、クイックキャッチ・アームなどの資材を用いた交通イベントを行う機会はあるのか。

【経験年数／1～3年】

【回答】

地域のイベントでは子供から高齢者まで幅広い年齢層が対象となることが多いので、使う教材としては…

- ・自転車のヘルメットの展示(自転車事故防止対策)
- ・飲酒ゴーグル体験(飲酒運転根絶対策)
- ・クイックキャッチ・クイックアーム(反射材機能体験)
- ・自転車シミュレーター等で日頃の自転車の安全運転の再確認のための体験
- ・子供に風船などお土産を渡すときでも風船の色で信号の話をする

【質問】

腹話術やマジックがよかったです。今回1人でもできる交通安全教育ということでしたが、日ごろから教室でもおひとりで活動されているのでしょうか。そして、マジックの種あかしはいつも教室の最後にされているのでしょうか。【経験年数／1～3年】

【回答】

警視庁交通総務課 交通安全教育係は1人で交通安全教育を実施するということはありません。

警視庁管内の各警察署につきましては、それぞれ警察署につきましては、それぞれ警察署の規模が違ったりするため、1人で交通安全教育に行かなくてはならない場合があります。

マジックの種あかしにつきましては、教室の最後にいつもやっています。

【質問】

リアルに知れてよかった。もっと1人でできる教材はないのか？教材のたしにとってもなったが、どうやって台本を作っているのか、ネタはどっからさがしているのか→SNS以外で知りたい。【経験年数／1年未満】

【回答】

1人でできる教材

- ・車の死角(写真等活用)
- ・目の錯覚(トリックアートの絵やトラックと二輪車の並んでいる写真等の活用)
- ・手遊び(歌を歌いながら。指の本数を数えていき、最後に♪が11本になっている)
→目と耳でよく確認することの大切さを伝える
- ・魔法のノート(導入と最後の締めで活用)
- ・消える赤い玉(手品なので導入で活用)

※手品については、世に出ているみんなが知っているような手品であっても、それを交通安全教育につなげれば良いと思います。

ネタ探し・台本作り

- ・先輩方からの教え
- ・元々ある手品などを交通安全につなげられるようにアレンジする
- ・実際に発生した交通事故を分析し、原因と対策を考え伝えたいことを伝える
- ・子供、高齢者、企業等、対象者に合わせた内容を心がける
- ・聞く相手の立場に立って難しい言葉などを使わずに、わかりやすい言葉で伝える

【質問】

HP等で、デモンストレーションの紹介をしていただけると助かります。とても参考になりました。絵具とキャップにつけるタイミングは、大体どのくらい前につけるのがベストですか？

【経験年数／5～10年】

【回答】

ポイント1 絵の具が乾いてしまうと、絵の具が固まってしまうペットボトルを振っても絵の具が溶けない

ポイント2 絵の具が水っぽかったりすると、キャップをしめた段階で、垂れてきてしまい、手品をやる前に水の色が変わってしまう。

以上のポイントを踏まえて、手品をするまでの話の長さを考えたり(絵の具が乾かない様考える)、絵の具の素材を確認するなど事前に確認、調整をすると良いと思います。

【質問】

魔法の袋の仕組みや材料をもう少し詳しく知りたいです。よろしければお願いします。

【経験年数／5～10年】

【回答】

魔法の袋は袋の持ち手部分で、袋の中の仕切りを動かすことができます。仕切りがあることにより、何も入っていない袋とスカーフなどが入っている袋と、1つの袋で2種類の袋を作ることができるようになっています。

【質問】

腹話術は子どもたちに興味をもってもらうためにいいアイテムだとおもいます。横断歩道を渡ったり、飛び出すことは難しいですか？【経験年数／3～5年】

【回答】

腹話術人形で横断歩道を渡ったり、飛び出したりすることは可能だと思います。その際に、横断歩道を渡る、飛び出しをするといった状況を受講者がイメージ出来て、わかりやすく伝えられる様に、人形の動き、実施者の話し方、パネル(画用紙にイラストなどを貼っても良い)を活用するとよい)を活用など、工夫すると良いと思います。

《感想》

・白バイ隊(クイーンスターズ)指導、白バイ歴5年了解です。デモンストレーション参考になりました。

・1時間あきずに楽しく受講できた。手づくりの手法に拍手を送りたい。地域にもどったら伝えていきたいと思います。

・活用出来る導入を実際に見せてもらえてよかったです。

・効果的な演出で良かった。

・子供達に興味をもって聞かせるための手品や腹話術は子供でなくとも目も耳も集中させられた。

・今後交通安全活動だけでなく、多面的に楽しかったので活用させていただきます。

・数パターンあって、注意力が最後まで保てました。あっという間に終わってしまいました。良かったです。

・大変良かったが、マイク、スピーカーの音量が高く、聞きづらかった。

・楽しいデモンストレーションでした。参考にして教室等につかわせてもらいます。

・腹話術など操作技術のいるものより、ペットボトルや手遊びなどでできるものはすぐ実践できそうです。ありがとうございました。ポータブル拡声器は電器屋さんに見に行きます！！

・腹話術の実演は見たいと思っていたので見せて頂けて嬉しかったです。できるようになるには時間がかかりそうですが、他県での評判が良いということもあり挑戦してみたいと感じました。講話を解説してくれたのも、わかりやすく自分にもできると思いました。1人でもできるアイデアをたくさん頂きました。色と漢字の画用紙はすぐ作ろうと思います。

・腹話術は、私たちの職場でもとり入れています、とても参考になりました。小道具の使用など、すべてのデモンストレーション楽しくひきこまれました。スキルアップしていきたいと思います。笑顔で元気のよい挨拶とても印象がよかったです。ありがとうございました。

・帽子の手品は、かってやっていたそうですが、最近はおうかという話が出ました。あと、ゲーとパーの手遊びも安全指導に即取り入れたいと思いました。

・マジック等を活用しての幼、低学年児への安全教室は、子供達が興味を示し、身につけやすいと感じました。

・皆様一生懸命でとても良かったです。熱意が感じられました。私は元警察官で定年後に市役所にいます。制服の強みを退職してからものすごく感じています。警察官でしかできなかった体験などをおりませることがとても効果的に感じます。(私はもう使えないので)頑張ってください。

・若々しく楽しい実演をありがとうございました。「紫」などの色の字を違う色で印刷し、色を答えてもらうという脳トレなど、すぐに実践で生かせる内容で楽しく拝見しました。

・大変勉強になりました。

④山口直範先生へ（講座名：子供の交通安全教育について）

≪質問・回答≫

【質問】

「自転車教育の実践」について。小学校で教えるものは基本的な乗り方や操作、模擬コースでの走行という形が多いですが、授業という限られた時間の中で実践的に付け加えられるもの(生態学的妥当性に関して)があれば教えていただきたいです。

【経験年数／5～10年】

【回答】

従来の基本的な教育内容の中で外していいものを検討してみてもいいでしょうか。例えば対象が小学4年生であれば、通常2～3年の運転経験があります。

また広く、浅く、多くを教えるのではなく、ブレーキ、視線(目線)、下り坂の運転など、地域の安全に有効なテーマに絞る方法もあります。

【質問】

国によって、地域によって子ども達の交通意識が違うと思うのでどの様に地元の子ども行動を聞けるか。【経験年数／1～3年】

【回答】

子どもに質問するのもいいのですが、行動を観察してみてもいいでしょうか。

心理学では人間の行動は、個人特性と環境の相互作用とらえています。行動からなぜ、そのような行動をするのか心を推測してみるのも方法です。

【質問】

子どもにも安全確認をする能力があるならば、子ども自身の能力の範囲で気づきを与える方法はあるか。【経験年数／1～3年】

【回答】

すべての交差点ではなく、日替わりでポイントを決めて、子どもたちに安全確認を任せてみるでもいいでしょうか。指導員はコーチの役割で、安全確認をして横断しているのを見守る立場です。もちろん危険な状況で横断しようとしたら止めに入ります。

【質問】

子どもの自主性に働きかけたいと思うのですが、歩行訓練のコースによっては信号が短くて、確認している間に信号が変わってしまうということもあります。そういう時、急かし気味になってしまったり、私が誘導してしまうのですが、何か良いアイデアがあればお聞きしたいです。【経験年数／5～10年】

【回答】

信号の変わり目に急ぐのは日本のいいところでもあり、仕方ないと思います。もし、前の方を歩く子どもたちは安全確認ができていのであれば、前・中・後に区切って入れ替えてみてはいかがでしょうか。

【質問】

西ドイツの親が責任を持って横断(通学路)を教えているのやノルウェーの子どもの交通死亡事故ゼロはすばらしい。その秘訣はなんですか？【経験年数／20年以上】

【回答】

ドイツは義務教育の科目に「交通」があります。交通安全だけではなく、街づくりや物流など幅広く交通を学んで育っています。また北欧の国は生活道路の速度制限を徹底していることも影響していると考えられます。

【質問】

保育経験と海外との研究内容等、大変勉強になりました。子どもの特性、日本人の性格を理解した上で交通安全教室、講話に活かしていきたいと思います。ただ1つだけ誤解されていると感じたのは自転車安全教室についてです。乗り方を教える場と考えられているようですが、交通ルールを教える場であり、上手に乗れるための教室ではないということを理解して頂けると有難いです。よろしくお願い致します。

【経験年数／5～10年】

【回答】

ご担当の地域では自転車の乗り方を教えていらっやらないようですね。歩行者と違って自転車は、車両を運転する運転者であり、運転技術が必要です。例えばブレーキー一つとってもものあたりを握るのか、レバーの握り方などを知っているだけでも制動力は変わります。運転方法もルールと並行して学習すると、より教育効果が上がります。

【質問】

子どもたちへ伝えると同時に、保護者にも伝えたいがどのようにすれば、保護者にも伝わるでしょうか。【経験年数／3～5年】

【回答】

交通安全教室と聞くだけで興味を持たない保護者には困りますよね。私は、災害安全と生活安全と交通安全をセットにして「子どもの命を守る学習会」として開催しました。

【質問】

講義ありがとうございました。教えていただいた事を参考に、今後の教室に活かしていきたいと思います。山口先生の講義の中でお話があった「通常の自転車教室と少し違う自転車教室」についてなのですが(資料の写真は鈴鹿市立愛宕小学校2013年のものでした)、実際行った教室では参加対象の学年を限定しましたか?難易度が高いコースや、自転車を運転する上で「いけないこと」をさせる際に、子供たちのケガがないように何か配慮すべき点などありましたら、教えていただきたいです。

【経験年数/1~3年】

【回答】

例えば一本橋の課題はいかがでしょうか。一本橋はバランス感覚を養うための練習ではありません。

下を見て運転すればフラフラと脱輪してしまうけど、一本橋の先に注視点となる目標物を置いてそこを目指せば細い橋でも脱輪せずに渡れてしまいます。すなわち、自転車の運転において視線の移動がいかに重要な体験するのです。

【質問】

自転車教育の実践で、山口先生が考えられるコースはどのような感じになるのか具体的に教えていただけると嬉しいです。とても共感しました。**【経験年数/5~10年】**

【回答】

一例を申しますとオフセットスラロームではパイロンの間隔を厳しくセットしました。その際、自転車の推進力が必要ですから、しっかりとペダルを漕げるだけの距離を設けました(低速でフラフラと走行するのではない)。

【質問】

外で遊んでいる子どもをあまり見かけなくなったのもあるかもしれませんが、私が小学生のころと比べて、交通マナーはずいぶん向上し事故は減ってきているようです。先生が交通安全対策を講じておられるカンボジアは、昔の日本のような混沌とした道路交通状況があるようで、一度この目で現地を見てみたい気がします。対策実施によってそこがどのように変わってきているか、公表されているのであれば教えていただきたいと思いました。私自身が未就学児2人の親ですが、交通安全の点だけでなく、子育て全般においても何かとヒントになる内容で大変参考になりました。ありがとうございました。**【経験年数/1年未満】**

【回答】

おっしゃる通り「道草」できる場所が減り、遊ぶ場所と移動するための場所がはっきりと区別されました。また、日本の交通マナーは向上してきていますが地域差があります。残念ながらカンボジアでの取り組みは、まだ教育効果を科学的に報告するまでには至っていませんが、歩行者が道路横断時に自動車との距離を多くとるようになったという報告があります。

《感想》

・「生涯に渡って発達する」ポケもその年齢やその人にとっては、発達過程という事で気が楽になります。
・心理学～人間は発達を続ける。具体的な例で楽しく学びました。
・教授の立場から分かり易い講座でした。内容も理解でき、今後講座内容を活用させていただきます。
・子どもの心理・行動がわかりました。子どもの目線、身に立っての確認と言うことを考えました。
・時間の割には内容豊富な為、かけ足の講座でした。すばらしい内容なので時間を増して頂きたかった。
・事例の中で親子で道を渡るとき、親が目隠しすると子どもが一生懸命安全確認をするのが参考になりました。
・先生のデータに興味をもった。
・楽しい内容でした。わかりやすかったです。地に足がついた内容で具体的でした。ありがとうございました。
・とても、興味のある講座でした。幼児の心理や理解度など、わかりやすかった。
・とてもいいお話だったのですが午後一番眠たい時間だったので残念でした。お話はわかりやすく楽しかったです。
・発達心理学の観点、また、実際に保育園にお勤めだった経験から、難しい話もとても軽妙にお話くださって楽しく聞くことができました。特に、自転車用ヘルメットにウェアラブルカメラを固定して、小学生の自転車乗用時の動きを見られたのが、とても興味深かったです。小学校の自転車教室に行くと、自転車の乗り方の習得は個人差が大きいことを感じます。鈴鹿市で行われた自転車教育は大変興味深く、このような教室が開けたらいいなと思いました。ありがとうございました。
・保育の現場から海外まで幅広い視野からのお話はとてもおもしろく、講演時間があっという間でした。ありがとうございました。
・歩行中の事故で7才が多く発生していることをその時期の子の特性を理解した上での教育方法は説得力がありました。
・大変勉強になりました。

⑤池田佳代先生へ（講座名：いきいき運転講座）

≪質問・回答≫

【質問】

・今回の講座でワークシートに取り組む際に受講生を指名して問題を読んでもらう場面がありましたが、あれは(実際の講座と同様の)台本どおりの手法なのでしょうか。
・「いきいき運転講座」は、紹介いただいた教材もすべて利用して指導を行った場合、おおよそどのくらいの時間を要するのでしょうか。【経験年数／3～5年】

【回答】

講座への参加意識を高めるために、問題を読んでいただいています。
講座は1時間を目安にしています。時間を短くしたい場合は、参加者をグループ分けせず、指導者が1人ひとりに質問していくとよいと思います。

【質問】

いきいき運転講座のテキストはどの様に入手出来ますか。【経験年数／1～3年】

【回答】

(一社)日本自動車工業会のホームページに掲載しています。「いきいき運転講座」で検索していただくと、すべての教材をご覧いただき、ダウンロードすることができます。

https://www.jama.or.jp/operation/safety/safety_action/elderly_driver.html

【質問】

いきいき運転講座は、無料で使用できますか？【経験年数／5～10年】

【回答】

無料でご使用いただけます。

【質問】

講義ありがとうございました。確か横断歩道での死者数が北欧では「0」だったと思いますが、差しつかえなければ他国のデータが有れば開示をお願いします。

【経験年数／1年未満】

【回答】

イタルダ(交通事故総合分析センター)のホームページで、「国際比較」を検索すると、国別の交通事故データが掲載されています。歩行者については、北欧ではスウェーデンのデータが紹介されています。2021年の交通事故による死者数は合計201人、うち歩行者は24人(11.9%)です。ただし、データは歩行者の死者数合計のみで、「横断歩道」など事故発生場所の記述はありません。

<https://www.itarda.or.jp/materials/international/free>

「国際比較」のもとになっている国際道路交通事故データベース(IRTAD)のホームページでは、多くの国の交通事故データがカバーされていますが、歩行者の事故発生場所については紹介されていません。有料会員になると詳しいデータが入手できるようです。

<p>【質問】 講義でご紹介くださった教材は、本市で開催する出前講座などで使用してもよろしいのでしょうか？【経験年数／3～5年】</p> <p>【回答】 ぜひご活用ください。高齢者のみなさまの交通事故防止にお役立ていただけることを願っています。</p>
<p>【質問】 ビデオを見ずに気づきを与えることもできるのか、写真のみでの話し合いは可能ですか？【経験年数／1～3年】</p> <p>【回答】 「いきいき運転講座」は、4項目（各3種類）のプログラムがあり、今回ご紹介したビデオを活用する「自分の運転を振り返る」以外の3項目は、写真やワークシートを使って進めたいいただくことができます。ぜひご活用ください。</p>

《感想》

・高齢者の運転サポートをみんなで「参加型」良かったです。
・DVDを多用して講座の内容がよく理解できたと同時に自己反省しました。
・オンラインの声が池田先生に聞きづらかったので、要改善だと思いました。
・オンラインの人や会場の人のことばを直接聞く手法が良かったです。グループ(オンライン)の人の話し合いはどのようになっていたのか会場ではわからなかったです。班長が全員の意見を発表するのか、個人が発表するのかわからなかったです。
・駆け足で講義を進めていましたが、もう少しテーマを絞り、じっくりと時間をかけて実施していただきたかったです。
・高齢者の自動車安全教室はとても良いと感じましたが、オンラインで参加した者としては置いてきぼりを感じました。それと講話をそのままやるのも勉強にはなりませんが、指導者研修会なので実用することを考えてもらえると、より良いのではと思いました。台本がある、ということなので解説をもう少し聞きたかったです。
・高齢者の特性は意外に思うこともあり、実際に現場の声を聞いてみないとわからないものだなと思いました。ありがとうございました。
・高齢者本人の運転能力や法遵守の棚卸をする講座で大変有効と思うが、人生のベテランを前にしてはしっかり方法をしっかり理解していないとただやっただけの形になるのではないかという不安があります。
・高齢者を対象とした教室で活用させていただきます。特に、高齢者の特性を再認識しました。
・高齢ドライバーが自分の評価が意外に高いのには、驚きました。出会い頭事故を減らす事、必ず一時停止は止まる事である身に付けたいものです。
・参加型のディスカッションについて私は大変有意義だと感じましたが、教材購入の予算が自治体によっては難しいかなと思いました。あと、私の市では、一時間未満の高齢者指導なので実際に行うのは厳しいかな？と思います。

・スライド・映像・グループ討議等、飽きさせない内容でした。また、池田さんの話し方も聞き易かったです。
・楽しく受講できました。高齢者向けの講話に行く際とり入れたいと思いました。
・脳トレはいいなと思いました。教材が欲しいと思いました。
・大変勉強になりました。

⑥彦坂誠先生へ（講座名：自転車の安全利用のために）

≪質問・回答≫

<p>【質問】 グループディスカッションは小学生でもできますか？【経験年数／3～5年】</p> <p>【回答】 小学生でもできます。たとえば事故事例研究であれば、①どんな事故が起きたか？どのような場面だったか？（事故や状況の観察）、②なぜ起きたか？運転している人はどんな状況だったと思うか？（原因の考察）、③運転している人や家族、友達の気持ちは？（事故の影響）、④どうしたら防げたか？（安全行動の考察）、⑤事故にあわないためのあなた自身のめあて（安全な行動目標）というように、段階的に考えさせるとよいです。また都度、数人を指名し発表してもらうことで、より多くの考え方を参考にしながら進めます。学校であれば担任教諭などにもご協力いただき、子ども達のスムーズな話し合いを援助するとよいです。</p>
<p>【質問】 小学生へはどのように伝えるのか。【経験年数／1～3年】</p> <p>【回答】 どの年齢層にあっても同様ですが、なるべく道路の写真などを用いて、より具体的な説明を行うようにすることが大切です。小学校近くの道路の写真などを用いるとわかりやすいです。小学生であれば当然、専門用語は避け、安全確認などはジェスチャーも交えます。体育館などに集合して講習を行うならば、床のラインや児童向いている向きも活用できます。</p> <p>ちなみに、私は対象者の年齢等にかかわらず、法規説明ではなるべく具体例を挙げ、さらに「なぜ、そうしなければいけないのか」という理由を付け加えるようにしています。一方的に話すというよりは、クイズや問いかけ（「なぜ歩道の車道寄りを通らなければいけないと思う？」など）を交え、子どもの理解度を把握しながら説明しています。</p>

【質問】

道路状況の写真や映像などを交えた講義がとても分かりやすかったです。交通場面を観察したグループディスカッションで実際に取り組んで、その後の効果等まで追跡したような事例があれば、知りたいと思いました。【経験年数／5～10年】

【回答】

交通場面観察(グループディスカッション)は、第三者の姿を借りて「自分の行動を振り返り」、「交通事故の危険性を自分事として捉え」、「これからの行動を自ら決定する」ものです。そのため、講義よりも生徒の印象に残り、安全行動の実践につながりやすい学習といえます。

追跡調査は行っていないので具体的なその後はわかりませんが、高校であれば3年間を過ごす中で、自転車通学の交通行動の改善はみられているようです。また、高校生などは生徒会活動に結びつけてもらうことで地域貢献活動に展開しているケースもあります。

【質問】

小学4年生にもし、交通事故にあってしまったときには、周りの大人に声をかけて助けてもらいましょうと伝えていますが、いいでしょうか。【経験年数／3～5年】

【回答】

児童の交通事故時の対応方法については、1つに小学生の場合は自分専用のスマホなどを持っていないケースが多いと考えられます。そうすると、どうしても警察や救急、保護者への連絡はその場に居合わせた大人に頼るしかありません。2つ目に事故時の対応は各所への連絡や事故状況把握、自身のけがの把握を含めて、事故時の焦りがある中では難しいものです。第三者である「周囲の大人に頼る」とすることで、覚えやすく対応しやすいと思います。

最近では「見知らぬ大人と接しない」ということもありますので、保護者にも理解してもらっていただくことが重要です。家庭内で「いざという時どうするか？」の決まりをしておくことが求められます。

【質問】

自転車の安全で適正な利用の一環として、自転車保険について自転車利用者への、まずは周知を講座やチラシを通して行いたいと考えています。可能であれば、その際に参考となるような資料等ありましたら教えていただきたいです。

【経験年数／1年未満】

【回答】

自転車保険の周知はとても重要です。内容としては、①自転車保険の種類、加入状況チェックシート、賠償事例などが考えられます。都道府県などでWEBからチラシがダウンロードできるケースは大変多いですので、それらを活用されるのも良いと思います。

たとえば東京都であれば↓のようなサイトを設け、チラシもダウンロードできるようになっており、他の道府県でも同様のサイトがあるかと思しますので、一度ご確認ください。

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/tomin_anzen/kotsu/jitensha/seisaku-jyourei/jitensha-jourei/0000001924.html

その他、

自転車活用推進官民連携協議会

<https://www.jitensha-kyogikai.jp/project/#section3>

(一社)日本損害保険協会

<https://www.sonpo.or.jp/about/useful/jitensya/index.html>

なども参考になるかと思います。

《感想》

・「自転車安全五則」の改正の流れを再認識しました。五則の内容について詳細に説明してもらい、理解できた。

・自転車の安全利用とルールの説明良く解りました。

・簡潔明瞭でとても分かりやすい。

・移動に便利な手段として自転車についてより安全な乗り方、またヘルメットの購入にあたっての注意を知ることができ、たいへん有意義であった。

・交通事故防止活動は、自分事として意識することが大切であるということは、以前から感じておりましたが、今回の先生の講義で、その重要さを再確認しました。本県では「MS(マナーズスピリット)リーダーズ」という高校生のボランティアに、啓発活動の手伝いをしていただくことがあります。啓発などは、大人が伝えるより、自分と同じ高校生が伝えの方が効果的な場合も多くあり、受け手の効果も見込めるため、今後も積極的に取り入れていきたいと思えます。あと、自転車や車の動きが分かる動画(CG?)が、とても分かりやすく、楽しく拝見できました。この1年、高校生のヘルメットの着用率の低さを改善させることを考え続けてきましたが、後半のヘルメットのお話も、現在の業務に直結するお話で、大変興味深く伺いました。

・知らない事やかん違いしている事が多く、大変有意義でした。

・それぞれの自転車ルールを写真を使ってわかりやすく指導していただきとても良かったです。基本的なルールを知らない人も多いのでこのような講義は効果的だと思います。
・注意点やポイントを教えてもらえてよかった。
・データに基づいた話は今後の講話に役立ちます。また、道路・交差点等のイラストが大変分かりやすく、今後の参考となります。ありがとうございました。
・とてもわかりやすく自転車のルールについて教えていただきました。ヘルメットのことも活用したいと思います。
・内容の割には持ち時間が足りなかった。具体的で為になる内容でしたのでゆっくり聞きたかった。
・反則金のなりたち、自転車の交通ルールの変遷についても教えて頂き勉強になりました。
・ヘルメットの件がとても良かったです。ヘルメットの件は高校など学校関係からきかれることが多い。ありがとうございました。
・ヘルメットの着用が努力義務になり、とても関心のある講座でした。期待どおりとても参考になる内容でした。
・本日の学びを、会員等に伝えていきます。・地域をまきこんだ教室、特に学生とキャンペーン活動の必要性がわかりました。・自転車の細かなルールの説明ありがとうございました。
・やはり聞くよりは目でビデオを見るのが一番頭に入るので良かったと思います。
・わかりやすい説明で、大変良かった。
・大変勉強になりました。

13. 今後、講座で取り上げてほしいテーマ等がありましたら、ご自由にご記入ください。

・保護者の交通安全意識を向上させるためにどうしたらよいのかという意見が多かったので、その対策についてテーマを取り上げてほしい。
・交通安全に寄与に道具やツールを取りあげてほしい。いつも同じものでは運転者へのアピール力が弱くなっている。速度超過や無灯などを警鐘するものなど紹介してくれるとうれしい。
・街頭指導に関する講座も1つくらいあればよかった。
・ヘルメットの普及率が一位の愛媛県の取り組みについて、すごく興味があります。高校生へのヘルメット義務化に踏み切った経緯や、高校生に受け入れてもらうために取った工夫などをお聞きできればと思います。
・保護者参加の幼児対象交通安全教室で、幼児だけでなく保護者にも交通安全の意識を高めてもらう効果的な進め方について。
・小学生とのコミュニケーション仕方、挨拶をしない！（基本の基）名札が防犯の為、付けてない。名前を覚えることが一番だと思う。

・電動キックボードについて。・福祉施設での交通安全教育指導について。
・交通事故被害者支援については今後も取り入れてもらいたい。
・交通安全教室で使用できるグッズの紹介
・今回、講座に参加させていただき、子供への交通安全には保護者や地域の大人の意識の向上も大切だということがわかりました。是非、保護者や地域に向けた効果的な啓発方法なども教えていただけたらうれしいです。
・幼児でも高齢者向けでもいいので、簡単な教材作りを取り上げて欲しい。
・交通法規・法改正があった場合はそのことについてなど警察関係の方などからお話ししてほしい。
・何かテーマをしぼってもう少し講座の目的をはっきりして欲しい。旗振りなのか？講座なのか？これによって目的が変わってくると思います。
・現在交通指導をやっている都道府県の先輩達の実演を見たいです。
・高齢者を中心に、歩行者の立場から事故に遭わない歩き方や心構えについて、詳しく学んでみたいです。
・わかりやすい法律(道路交通法)歩き方、自転車の講座。交通安全教材パネルや手あそびゲームなど。
・ホンダやクロネコヤマト等、企業が提供している交通安全教材の紹介と使い方の講義
・交通安全指導について、実践的な内容の講座をおこなってほしい。
・交通安全教室での実施方法や実技のコースなどを知りたい。
・対面以外の方法での安全教室、啓発のやり方。・事例発表の充実
・幼児、児童の保護者に対する教室のすすめ方
・ヘルメット着用。幼年、小学生、中学生、大人はヘルメット着用を促していて意識も高いですが、高校生がほとんど着用しません。学校指導など難しいのでしょうか？H24年とR4年を比べると倍以上に増えている(←死亡率)。
・保護者や、中高生に特化した交通指導方法について
・障がいのある子どもへの教育例、子どもの心に残る指導法のデータ
・電動自転車等、キックボードなどの、詳しい交通法規
・交通ルールの変更の時は明確に説明して下さい。
・スタントマンに依る交通安全教室。但、実際は業者に依頼すると、多額の出費と成る為、VTR等で観賞講習しては！
・広報や配布物の作成例とその効果。・最低限指導すべきレベルの全国統一基準。・PTAへの旗振り指導や交通安全教室の基礎となるマニュアル(?)←基礎を元に地域に合わせて活用していきたい。(指導内容が地域によってちがうので最低この内容は指導すべきと明確に示してほしい)
・今回のような内容がいいと思います。
・障害児への交通教室もしているの、そこも取り上げて欲しい。
・事例発表とは別に普段どんな教室を行っているのかお話しする機会があれば良いなと思いました。

・交通安全指導のシナリオや教材を実際に見てみたい。
・交通指導員、ボランティアの後進育成、若手確保の方策
・高齢者、自転車の事故が多いのでテーマ上げてほしい。
・効果的な参加体験型交通安全教室について
・実際の交通安全教室で、活用できるような内容であれば、いいと思います。
・実際におこなっていると導入(かえうた)や講話を実施する機会があればいいなと思いました。
・様々な教材について知りたい。どういった教材を使っているか、作成方法など。
・電動キックボード等の次世代モビリティに関する啓発等についての講座があれば良いと思います。

14. 講座の実施にあたり、運営やスタッフの対応等にご意見がございましたらご記入ください。

・2日目だけ、ミーティングルームに入ったときに具体的な指示が出ていたが、あれが1日目と3日目にもあればよかった。
・途中、会場受講者の方の質問や発言があるとスタッフの方々がマイクを回してくださったので、オンライン受講の方にも声が届き聞くことが出来てよかったです。
・本講座に参加させていただき、ありがとうございました。全国の交通安全に携わる方々との講座、自分では気づけなかった話や、アイデアなどとても有意義な時間を過ごすことができました。また来年もぜひ参加させてください。
・お世話になりました。準備から当日の対応までとても親切丁寧に関わっていただきました。ありがとうございました。
・オンラインでもさほど変わらず講習を受ける事が出来てとても勉強になった。
・3日間おつかれさまでした。
・ご尽力いただき大変感謝しております。
・3日間ありがとうございました。
・皆さんの対応には感心させられました。テキパキと丁寧です。おつかれ様でした。
・講座の会場とオンライン開催、お忙しい中準備から当日までありがとうございました。貴重な機会をありがとうございました。
・いきいき運転講座の際、グループディスカッションを午前中のグループ討議のグループでしてくださいとのことでしたが、私の操作の理解が不十分な為に、ブレイクアウトルームに入ることが最後までできず、グループの皆さんにご迷惑をおかけしてしまい、しかし、お詫び申し上げることもできず、心残りになっております。
・とても丁寧に対応していただき、ありがとうございました。
・オンラインのグループ討議では、特に1日目の役割を決める際は、オンラインの初対面で、いきなり仕切るのも気が引けるため、なかなか皆さん話し始められませんでした。オンラインのグループ討議については、1日目の役割決めの時だけでも、運営スタッフの方が先導してくださるといいと思いました。

<p>・いい環境で受講できるように、気くばりをいただきましてありがとうございました。宿泊ホテル、もう少しきれいなところだとよかったです(わがまますみません)。</p>
<p>・オンライン上では聞こえているが、現地にはオンラインからの音声が届いていないことがあった。反応しているのにいないものとして飛ばされている方もいたので、会場で聞くことに専念する人等何か対策してほしい。</p>
<p>・本当に一部の人しかいないと思うので参考程度に読んでいただければと思うのですが、本当に職場にネットが繋がっていないので、全てメールではなく、電話やFAXもOKという感じにしていただけると嬉しいです…。</p>
<p>・交通費について勝手に決められて不透明。領収書の意味がわからない。朝のる電車との領収書でません。旗ふりの人又は講座をしてる人(どちらをしてるのか明確にし、分けて欲しかった)と一緒にグループ討論などをするとそれぞれの分野が違いすぎてまとまらない。</p>
<p>・オンラインと実施会場とのやり取りで、実施会場の発言者の声が聞こえなかったので最初からマイクを渡す方が良かった。準備不足感があった。オンラインの人が発言しているのに(確かに聞こえづかった)司会者と講師の口調がきつく感じた。</p>
<p>・冷たい水おいしかったです。皆様やさしくていいでした。</p>
<p>・丁寧に対応いただいたと思う。</p>
<p>・3日間ありがとうございました。当日配布された資料がもう少し軽いものであれば助かります。</p>
<p>・内閣府の資料が見にくかった。</p>
<p>・大変、わかりやすい進行され、ありがとうございました。</p>
<p>・キックボードetcの新交通機の現状と対応</p>
<p>・とても良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>・リモートの事前確認ありがとうございました。</p>
<p>・オンライン受講者への働きかけには、チャットやその他の媒体でアクションを取る必要があると思う。オンラインの接続が悪いのに、オンラインで話しかけるのは無理があると思う。質疑応答等の際に、マイクは二つ以上用意しておくべきだと思う。マイクを持っていない側の声がオンラインには聞こえないため。</p>
<p>・同じ県の人どうしホテルは一緒にして欲しい。バラバラすぎて大変でした。</p>
<p>・親切、丁寧に対応してもらいありがとうございました。</p>
<p>・特段の問題もなく、充実して受講することができました。旅程等についても色々とお世話いただきありがとうございました。</p>
<p>・オンラインの方のお話が聞き取りづらい場面が、何度かありました。音量調整していただくか、もう少し聞こえるように調整いただけると助かります。</p>
<p>・良好でした。</p>
<p>・警視庁の方が明けでこられたとのことでしたが運営スタッフさまの細やかな事務手続き、進行等お世話になりました。とても有意義な講習を受講できました。</p>

・ズーム対応など大変な中、全員がスムーズにできるよう対応してくださってよかった。分からないことにはすぐ答えていただき助かりました。
・発表者の時間オーバーや聞きとりづらさに声かけをしていただき助かった。

15. その他、講座全般にかかわるご意見・ご感想・ご要望等がございましたらご記入ください。

・有意義な養成講座でした。今後の交通安全活動に役立てて参りたいと思います。有り難うございました。
・今回は担当となって数年の方を対象とされたようだが、10年以上担当される方々にも今のやり方で問題ないか、あるいはもっと効果的な方法がないか更なる向上をめざす研修会が必要と思う。
・長い時間の講座とほどほどの時間の講座があり、休憩時間の間隔がまちまちだったので、長い時間の講座では小休止がほしかった。
・内閣府へお願いします。「舞の海」が出演している内閣府のDVDがとても使いやすく、高齢者に人気があります。ただデータ的に少し古いものとなっております。ぜひ新作をお願いいたします。・同じホテルの年令も性別も地域もちがう6名で、夕食2回昼食1回朝食2回をともにし、たくさんの情報交換ができました。こののべ10時間以上の雑談がとっても勉強になりました。貴重な出会いに感謝しております。
・3日間とても有意義な時間を過ごさせていただきありがとうございました。
・グループ討議の発表者でしたが、発表のその時に初めて結果記入用紙を見て発表するのは、討議に参加していても、段取りしづらいので、事前に目を通しておきたかった。
・主催者、内閣府として、交通安全に関する新しい国の情報提供をしてほしかった(説明やパンフの配布等)。
・講座を受けて実際に交通安全教室に取り入れた内容や実績、事例などがあれば今後の交通安全教室に取り入れやすく、どのように実施まで至った経緯を参考にさせていただくとすぐ実践できるかなと思います。どうしても起案や決裁、予算等でなかなか実現できないことが多いので。
・オンライン参加者に、フォロー、アドバイスする人が必要。時間感覚なく話し続ける人がいる。
・今回の3日間で様々なお話を聴くことができ、知っていると思っていた内容でも実は分かっていなかったこともあり深掘りして理解することができました。また、他の指導員さん方の日頃行っている教室の指導方法や、問題視していることなどは中々聞くことができないので今回とても充実した時間となりました。
・業務を通して経験した事だけでは知りえない講義内容でした。ありがとうございました。
・初めてオンラインで3日間という長い期間受講しましたが、会場に行かずとも先生方の講話を受講したり、他県の方とも意見交換でき、とても貴重な学びの時間となりました。ありがとうございました。

<p>・3日間とても有意義な講習会でした。指導員同士の情報交換や悩みなど話す機会ができてよかったです。指導員という名前は同じでもやっていることが様々なんだということがわかりました。ありがとうございました。自分のグループ討議の結果用紙を見せてもらいたいです。</p>
<p>・特別支援学校等で交通教室をすることもあるので、障害のあるひとに向けた接し方、講話の仕方など専門家の方を招いて講義を実施してほしい。</p>
<p>・興味深い内容ばかりで大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>・一括でとってもらったホテルがさすがにひどかったです。清潔感もないしきたないし雰囲気が悪かったです。安い所ということで仕方ないのかも知れませんがもう少し考えて欲しかったです。オンラインの人に対する時間を、これだけだよと知らせたりしてももう少しサクサクすすめて欲しかった。</p>
<p>・講座内容は盛り沢山で大変役に立つことが多々ありました。五年未満の方々が対象でしたが、今後五年活動して来た方々の、振り返り講座とか開催頂けるとありがたいと思います。</p>
<p>・グループとりまとめの紙が早めに手元(発表者)に渡してほしかった。いろいろと細かく具体的に教えていただきありがとうございました。</p>
<p>・実践的に指導できるようなスキルを身につけられる内容の研修であるかと思っていたが、指導者養成というよりは、通常の交通安全研修だと感じられた。</p>
<p>・講義中の関係ない発言や討議中に好き勝手喋る等の行為が辛かったので、スタッフ様にご対応いただけますとありがたいです。</p>
<p>・手配していただいたホテル(新宿パークツイン)は駅から治安の悪そうな道を10分ほど歩き、ひとりではこわかった。またあまりにも不潔でセキュリティもゆるくこれなら自分で手配すれば良かったと思いました。</p>
<p>・テーマ毎の打合せは出来たが他の地区の方との交流があまり出来なかった。そのような場を設けて欲しかった。</p>
<p>・スムーズな進行ありがとうございました。</p>
<p>・動画を見せられたら説得力がある。出来ましたら、もっと多用して頂きたい。・発表時間5分を厳守させる対策を取って頂きたい。例えば残り30秒でアナウンスする。とか…。発表者が高齢者の場合、終わりなく話しつづけます。</p>
<p>・遠方のためオンライン受講を選択しましたが、資料がデータのダウンロードのみではなく、紙での郵送も選択肢があればよかったです。オンライン受講を選択しても、全てを電子にしまうと、自分のパソコンがなかったり、ネット環境が充実していなかったり、操作が不得手な人は今後参加を躊躇してしまいます。</p>
<p>・昼休憩の食事で、当館2F、周辺のお店が混み合い、休憩が10分位しか取れませんでした。</p>
<p>・具体的な説明で理解し易くて良かった。ヘルメットの購入の仕方がありがたかった。</p>

<p>・今回このような機会をつくって頂いて有難うございました。私は指導員の業務についてまだ1年半しか経っておらず、今までは伝える内容を覚えるだけで精一杯でした。最近少し余裕もできたところですので、今回の講義の内容をとり入れ、聴いてくれる人をまきこみ、分かりやすく楽しい教室をつくっていきたいです。</p>
<p>・全般的に、スケジュールがハード過ぎるので、今後は時間短縮と休憩時間等考えて下さい。終わりに、講師・事務局スタッフ・グループの皆さん3日間有意義な時間ありがとうございました。</p>
<p>・グループ討議の各グループのまとめの資料をデータで送ってほしい。・使っていい資料やデータ、イラスト、写真などが知りたい。</p>
<p>・初めてリモートの研修を受講しましたが、わかりやすく参加できたので、よかったです。</p>
<p>・報告書に掲載するとしても、グループワークの結果記入用紙は、取りまとめ後、発表前に全員に配付していいのではないかと思う。発表内容に対して質疑応答を考える際に、画面共有のみだと見にくい。</p>
<p>・他県の指導者の方と交流させていただき有意義な時間でした。</p>
<p>・今回は初めて研修会に参加させて頂きました。多くの方の視点での意見を知ることができ新しい発見や今後取り入れて生かしていきたいと思うことがいくつもありました。とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。</p>
<p>・自分は耳が悪く補聴器を使用しているため、マスク着用での講義は聞きづらい。</p>
<p>・ペーパーレスなのに、同じ資料の配付が多かった。その反面、グループ討議のまとめは無い。どうかして欲しかった。現場で活動されてる方の言葉は、講師の話より大切と考えます。</p>
<p>・すばらしい講師陣のすばらしい講座内容に感謝いたします。</p>
<p>・宿泊ホテルは、せめて朝食付きでお願いしたいです。</p>
<p>・宿泊施設にバラつきがあったように聞きました。なるべく同じ施設にした方がいいと感じました。被害者支援、自転車の安全利用はコマの交換がよかったような気がします。</p>
<p>・席が決められてる中、講師の方によっては突然グループワークを行うような場合があり、その都度困いを動いたりするのが少し大変に感じました。ズームのカメラを配慮したりとあると思いますが、少し移動する場合の席について考えていただきたいです。</p>